

厚生労働科学研究費補助金

難治性疾患等政策研究事業

(難治性疾患政策研究事業)

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

平成26年度～平成28年度 総合研究報告書

研究代表者 大川 淳

平成29年(2017)年 5月

目 次

- ・ 総合研究報告

 - 脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

 - 大川 淳

- ・ 研究成果の刊行に関する一覧表

 - 別紙 4 . 書籍 (英文) (H26 ~ H28 年度)

 - 書籍 (邦文) (H26 ~ H28 年度)

 - 雑誌 (英文) (H26 ~ H28 年度)

 - 雑誌 (邦文) (H26 ~ H28 年度)

脊柱靱帯骨化症に関する調査研究

研究代表者 大川 淳 東京医科歯科大学大学院整形外科学教授

研究要旨 本研究班の最終的な目標は、脊柱靱帯骨化症に関する疫学、診断、画像、治療、予後に関する科学的根拠を蓄積し、診療ガイドライン改訂に反映させることにある。本研究班は3年間で多数の多施設臨床研究を立ち上げ、全国の参加施設からこれまでにないサンプル数のデータを収集し、解析を進めてきた。また集積されたデータに基づき多数の研究発表が行われ、権威ある専門雑誌に複数の論文が掲載されるなど、研究成果を社会に発信した。

A. 研究目的

脊柱に靱帯骨化をおこす、後縦靱帯骨化症(OPLL)、黄色靱帯骨化症(OLF)、びまん性特発性骨増殖症(DISH)(=強直性脊椎骨増殖症(ASH))、進行性骨化性線維異形成症(FOP)の診断基準、重症度分類の作成、診療ガイドライン(GL)の作成、改訂を目標として、各疾患に対する多施設研究を中心とした臨床研究を行う。疫学、診断、画像、治療、予後に関して、研究の結果得られる質の高い科学的根拠を蓄積し、次回の診療GL改訂に反映させることを目的としている。

B. 研究方法

ここでは研究計画に基づいて、多施設共同で研究を行ったプロジェクトについて掲載する。多施設研究は全て各施設の倫理委員会の承認のもと行っている。

C. 研究結果

1) 術中脊髄モニタリングのアラームポイント

浜松医科大学、松山幸弘を Project leader とし、日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ関連施設 16 施設を対象として、後縦靱帯骨化症、脊髄腫瘍、側弯症手術において行われた術中モニタリングについて調査を行った。振幅の70%低下をMEPのアラームポイントとした。結果としては、対象疾患は1636例(脊髄腫瘍571例と側弯症551例、OPLL415例)で、True positiveは72例、false positiveは126例、False negativeは5例にあった。モニタリングの精度は感度94%、特異度92%、陽性的中率36%、陰性的中率99.6%、偽陽性率8%、偽陰性率6%であった。モニタリングで警告され、術後麻痺が出現したTrue positive症例は髄内腫瘍が多く72例中22例(31%)、髄外腫瘍は19例(26%)、胸椎OPLLは13例(18%)、頸椎OPLLは4例(6%)であった。MMT2段階以上低下した重度の麻痺で

は全ての症例で振幅 70%以下に低下していた。モニタリングで警告され、最終波形が回復したレスキュー症例では術後麻痺例はなかった。この 82 例のレスキュー症例こそモニタリングの使用意義があったと考えられた。

また頸椎後縦靭帯骨化症手術の術中モニタリングについても調査を行った。振幅の 70%低下を MEP のアラームポイントとしたところ、頸椎 OPLL203 例のうち 10 例に波形変化を認め、うち 4 例がレスキューされていた。麻痺遺残は 6 例である。胸椎 OPLL は 114 例であり、波形変化 20 例のうち、レスキューが 5 例、麻痺遺残が 14 例であった。波形変化は椎弓切除による除圧操作時が最も多かった。

本研究により、後縦靭帯骨化症を含むハイリスク脊椎手術のモニタリング方法が標準化され、今後、手術の安全度がさらに向上することが期待される。

2)CTを用いた脊椎靭帯骨化症患者における全脊椎骨化巣の評価

頸椎 OPLL の骨化巣に対する CT を用いた新分類を提唱した富山大学、川口善治を Project leader として 20 施設が参加し、大規模な調査が行われた。頸椎 OPLL 患者の全脊椎を CT 撮影し、OPLL、黄色靭帯骨化(OLF)、前縦靭帯骨化(OALL)、棘上靭帯骨化(バルソニー結節)、棘上棘間靭帯骨化(OSIL)の発生率、相互関連を詳細に調査した。頸椎～仙椎まで撮影された CT 画像のうち、基本データが涉猟可能だった 322 例を対象とした。CT 画像を独立した 5 名の脊椎脊髄病医が読影し、各椎間板、椎体レベルの OPLL をカウントしファイルに記載し OP index(OPLL の存在するレベルの総数)を計算した。

結果は、平均頸椎 OP index 5.8 ± 2.9 で、胸

椎は平均 2.6、腰椎は 0.7 となり、全脊椎の OP index では平均 9.2 ± 6.7 となった。

全脊椎の OPindex と有意な相関を示したのは、女性、頸椎 OPindex、BMI であった。また頸椎 OPindex を 1 から 5 点の Grade1、6 から 9 点の Grade2、10 点以上の Grade3 とする骨化重症度分類を作成し(JOSL 分類)、Grade が1つ上がるごとに胸腰椎 OPindex が 6.4 倍になることを確認した。同様に頸椎 OPindex が増加すると OALL の index、DISH の有病率も増加し、OSIL の index も増加することが認められた。すなわち頸椎 OPLL の骨化指数が重度の患者群では、他部位(胸腰椎)に重度の骨化を有するリスクが高いことが明らかとなった。この研究結果から、骨化重症度の高い患者さんにおいては、全脊椎での骨化巣検索が推奨される。本研究の結果は下記に掲載された Mori et al., BMC Musculoskelet Disord.2016 Dec 1;17(1):492. Hirai et al., PLoS One. 2016 Aug 22;11(8):e0160117.

3)びまん性特発性骨増殖症(DISH)における脊椎損傷

慶應義塾大学、松本守雄を Project leader とし、全国 18 施設にて DISH 脊椎損傷患者の臨床データおよび治療成績を後ろ向きに集積した。2005 年より 2015 年までに参加施設で本損傷に対して治療を行った 285 例(男性 221 例、女性 64 例)、受傷時平均年齢 75.2 ± 9.5 歳を対象とした。受傷形態、受傷時麻痺(Frankel 分類)、遅発性麻痺の発生、診断の遅れ(受傷後 24 時間以内)、治療方法、周術期合併症と死亡原因について検討した。

受傷形態は立位もしくは座位からの転倒が 51.2%と最も多く、転落 28.4%、交通事故 11.6%、その他 2.1%であり、6.7%では外傷の既往がなかった。受傷時の神経症状は A 13.0%、B 6.0%、

C 15.4%、D 12.2%、E 53.3%であったが、遅発性麻痺による神経症状の悪化を 40.9%に生じた。診断の遅れは 40.4%に認め、doctor's delay が 59.1%と、patient's delay の 40.9%よりも多く認め、診断の遅れがあったものでは有意に遅発性麻痺を認めた。骨折部位の OPLL を 15.2%に認め、受傷時の麻痺と有意に関連していた($p < 0.001$)。手術治療は 82.8%、保存治療は 17.2%で施行されていた。手術は後方固定が 68.8%と最も多く、周術期合併症は 34.1%に生じ、肺炎(15.0%)、尿路感染症(12.5%)が多く見られた。受傷後 12 か月以内に 6.0%が死亡しており、その原因として肺炎(29.6%)が多かった。

本研究により、DISH 脊椎損傷の診断の重要性が明らかとなった。今後、早期診断、DISH の認識の重要性を一般医家に対して啓蒙を行っていくとともに CT 画像をベースとした画像分類を作成し、診療 GL に反映されるような治療指針を策定していく。本研究結果は、第 45 回日本脊椎脊髄病学会にて発表された。

4) 転倒による症状悪化に対する手術の影響

圧迫性頸髄症患者では、歩行バランスの低下による転倒の危険性が増大しており、転倒時の比較的軽微な外力による神経症状悪化が問題となる。自治医科大学、竹下克志を Project leader として、これまでに手術治療を受けた圧迫性頸髄症患者を対象として後ろ向きに調査を行い、全国 11 施設から 350 例の症例集積を行った。その結果、1 年間に 1 回以上の転倒・転落を経験した患者の割合は、術前 171 名(49%)から術後 98 名(28%)と有意に減少した($P < 0.001$)。転倒の際に症状の悪化(感覚障害のみ悪化を含む)を自覚した患者は、術前 102 名(29%)であったが、術後 28 名(8%)と有意に減少した($P < 0.001$)。特に運

動障害の悪化を自覚した患者は、術前の 64 名(18%)から術後 6 名(2%)と大きく減少した。疾患別の比較では、術前の転倒者の割合が OPLL では 56%(70 名)で、CSM の 45%(110 名)よりも有意に高かったが($P = 0.046$)、両方で症状悪化の頻度には差がなかった。このことから手術治療は外傷を契機とした症状の悪化を予防することが確認された。本研究結果は、下記に掲載された。Kimura et al., Spine (Phila Pa 1976). 2017 Apr 1;42(7):E398-E403.

5) 胸椎後縦靭帯骨化症の手術成績

胸椎 OPLL は頻度が低いものの、手術後の麻痺など問題があり未だ術式の確立が成されていない。名古屋大学、今釜史郎を Project leader とし、2011 年 12 月以降に胸椎 OPLL 手術 115 例(男性 53 例、女性 62 例、手術時平均年齢 53 歳)が前向きに登録され、その手術成績を調査した。

術式は前方除圧固定 8 例(7%)、後方手術は後方固定術 4 例(3.5%)、椎弓切除術 6 例(5.2%)、後方進入前方除圧固定術 12 例(10%)、後方除圧固定術(矯正固定術含む) 85 例(74%)であった。JOA スコア改善率は術後徐々に改善し術後 1 年では平均 55%であった。術式別 JOA 改善率(1 年)は有意差がなかった。術後半年の JOA スコア改善率は術中エコーでの脊髄浮上した症例で有意に 51 例(44%)で、一過性を含む術後麻痺発生は 40 例(35%)であった。

胸椎 OPLL に対しては instrumentation を用いた後方除圧固定術が行われることが多いが、その他の術式も短期的には同様の手術成績であり一定の術後回復を示していた。一方で術後運動麻痺を 35%に認め、いずれもいまだ安全かつ十分な手術法とは言えない。今後、中長期的な成績を検討し、治療法の標

準化、手術成績の向上を図っていく必要がある。本研究結果は第 90 回日本整形外科学会にて発表された。

6) 進行性骨化性線維異形成症患者の症状経過と身体機能

進行性骨化性線維異形成症(Fibrodysplasia ossificans progressiva: FOP)は、進行性の異所性骨化により四肢関節拘縮、脊柱変形、開口障害を生じADLやQOLが低下する疾患である。東京大学、芳賀信彦をProject leaderとし全国で症例を集積してきた。これら患者40名(男23名、女17名、10~45歳)を対象とし、病状の内容と今までの変化、画像上の特徴を調査した。

その結果から、診断基準を策定した。症状のA項目、鑑別診断のB項目、遺伝学的検査のC項目から構成され、該当項目数からdefinite、possible、probableの3段階に分類した。この診断基準は難病の認定基準に採用された。

D. 考察、

脊柱靭帯骨化症研究班の新体制として3年間で終了し、数多くのデータを全国の施設から集積する研究方法をほぼ確立した。

研究計画は班会議で提案され、研究分担者および協力者の議論を経て採用されたもので、多くのプロジェクトは10か所以上の医療機関の研究協力を得て全国レベルの研究体制を整えることができた。これまで他学会との共同Projectを含めると10以上のProjectが行われてきた。また、個別の研究も同時に進行しており、研究班全体としても活性化できていると考えている。

既にこれまでにないサンプル数のデータ収集が進んでおり、権威ある国際雑誌に研究班

から複数の多施設臨床研究が掲載され、現在投稿中のもの、今後投稿予定の研究も多数ある。次の新体制では診療ガイドライン改訂委員会が発足することが決まっており、研究班で得た成果を新たな診療ガイドラインに反映させていく。

E. 結論

靭帯骨化症調査研究班として多数の多施設研究を立ち上げ、重要な成果が得られている。引き続きこれらを社会に発信し、成果を診療ガイドライン改訂に反映させていく。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載

G. 研究発表

1. 論文発表

書籍・雑誌一覧表の通り。

2. 学会発表

別紙 学会発表の通り。

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍（英文）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Uchida K, Nakajima H, Furukawa S, Inukai T, Maezawa Y, Baba H	Morphological changes in anterior horn cells, Immunoreactivity to neurotrophic factors, and neuronal cell death of spinal cord lesions in the spinal hyperostotic mouse (<i>twy/twy</i>) with chronic mechanical cord compression	Uchida K, Nakamura M, Ozawa H, Katoh S, Toyama Y (ed.)	Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord	Springer	Tokyo	2014	97-106
Uchida K, Nakajima H, Hirai T, Sally Roberts, William E. B. Johnson, Baba H	Microarray analysis of expression of cell death-associated genes in spinal cord cells with cyclic tensile strain	Uchida K, Nakamura M, Ozawa H, Katoh S, Toyama Y (ed.)	Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord	Springer	Tokyo	2014	119-127
Uchida K, Nakajima H, Okazawa H, Kimura H, Yoshida A, Baba H	Clinical significance of 3D-MRI/ ¹⁸ F-FDG PET fusion imaging of patients with cervical compressive myelopathy	Uchida K, Nakamura M, Ozawa H, Katoh S, Toyama Y (ed.)	Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord	Springer	Tokyo	2014	367-376
Kanno H. Ozawa H.	Autophagy in spinal cord injury: pathogenic roles and therapeutic implications.	Uchida K, Nakamura M, Ozawa H, Katoh S, Toyama Y	Neuroprotection and regeneration of the spinal cord	Springer	New York	2014	19-30

Ozawa H. et al.	Biomechanics of the spinal cord and the pia mater	Uchida K Nakamura M Ozawa H Katoh S Toyama Y	Neuroprotection and regeneration of the spinal cord	Springer	New York	2014	61-74
Ozawa H. Zhao J.	Morphologic change and glial response to unilateral spinal cord compression	Uchida K Nakamura M Ozawa H Katoh S Toyama Y	Neuroprotection and regeneration of the spinal cord	Springer	New York	2014	83-96
Takahashi K. Ozawa H. et al	Stress distribution of the spinal cord and clinical relevance in cervical spondylotic myelopathy	Uchida K Nakamura M Ozawa H Katoh S Toyama Y	Neuroprotection and regeneration of the spinal cord	Springer	New York	2014	311-322
Koda M, Furuya T, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Okawa A, Takahashi K, Yamazaki M	Granulocyte colony-stimulating factor-mediated neuroprotective therapy for spinal cord injury	K. Uchida, M. Nakamura, H. Ozawa, S. Katoh, Y. Toyama	Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord	Springer	東京	2014	pp141-147
Yamazaki M, Takahashi H, Furuya T, Koda M	Neuroprotective therapy using granulocyte colony-stimulating factor for acute spinal cord injury: a multicenter prospective controlled clinical trial	K. Uchida, M. Nakamura, H. Ozawa, S. Katoh, Y. Toyama	Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord	Springer	東京	2014	pp333-344
Koda M, Furuya T, Inada T, et al.	Granulocyte colony-stimulating factor-mediated neuroprotective therapy for spinal cord injury.	Uchida K, Nakamura M, Ozawa H, Katoh S, Toyama Y	Neuroprotection and Regeneration of the Spinal Cord.	Springer Japan.	Tokyo, Japan	2014	141-147

書籍（邦文）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
山崎正志	術後脊髄麻痺への対応 総論2.	徳橋泰明, 三井公彦	脊椎脊髄術中・術後のトラブルシューティング第2版	三輪書店	東京	2014	pp67-72
今城靖明、寒竹司、船場真裕、藤本和弘、田口敏彦	脊椎疾患における電気生理診断	田口敏彦	脊椎脊髄ジャーナル	三輪書店	東京	2014	302-307
今城靖明、寒竹司、吉田佑一郎、西田周泰、田口敏彦	近位型頸椎症性筋萎縮症に対する手術治療	田口敏彦	脊椎脊髄ジャーナル	三輪書店	東京	2014	463-468
今釜史郎	胸椎後縦靭帯骨化症（胸椎OPLL）の手術治療～ハイリスク手術への挑戦～		大阪臨床整形外科医会会報42号	大阪臨床整形外科医会事務局	大阪市	2016	84-87
今釜史郎	嚙状型胸椎後縦靭帯骨化症に対する一期的後方除圧矯正固定術～6.0mm径バイタリウムrodの使用経験		Stryker Infos spine 2016 No.10	日本ストライカー株式会社	東京都	2016	14-15
芳賀信彦	骨系統疾患の臨床診断	土屋弘行、紺野慎一、田中康仁、田中栄、松田秀一	今日の整形外科治療指針、第7版	医学書院	東京	2016	220-222
鬼頭浩史	FGFR3グループ概説	土屋弘之他	今日の整形外科治療指針 7版	医学書院	東京	2016	231-232
鬼頭浩史	軟骨無形成症	土屋弘之他	今日の整形外科治療指針 7版	医学書院	東京	2016	232-233

鬼頭浩史	軟骨低形成症	土屋 弘之 他	今日の整形外 科治療指針 7 版	医学書院	東京	2016	233-234
鬼頭浩史	濃化異骨症	土屋 弘之 他	今日の整形外 科治療指針 7 版	医学書院	東京	2016	252-253
鬼頭浩史	彎曲骨異形成症概 説	土屋 弘之 他	今日の整形外 科治療指針 7 版	医学書院	東京	2016	249-250
鬼頭浩史	培養骨髄細胞移植 による骨延長術	土屋 弘之 他	今日の整形外 科治療指針 7 版	医学書院	東京	2016	242
鬼頭浩史	画像診断のピット フォール	日本小児整 形外科学会	小児整形外科 テキスト改訂 第2版	メジカル ビュー社	東京	2016	58-63
中島康晴	進行性骨化性線維 異形成症	土屋弘行， 紺野慎一， 田中康仁， 田中 栄， 松田秀一	今日の整形外 科治療指針	医学書院	東京	2016	266-267
芳賀信彦	先天性骨系統疾患	中村利孝、 松野丈夫	標準整形外科 学、第13版	医学書院	東京	2017	291-306
芳賀信彦	骨系統疾患	高橋邦泰、 芳賀信彦	整形外科学テ キスト、改訂 第4版	南江堂	東京	2017	341-345
今釜史郎	胸椎 OPLL 手術の多 施設研究 ～厚生労働省脊柱 靱帯骨化症に関す る調査研究27年間 の概要～		臨床整形外科 52(1)	医学書院	東京都	2017	33-37

雑誌（英文）

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Taniyama T, Hirai T, Yoshii T, Yamada T, Yasuda H, Saito M, Inose H, Kato T, Kawabata S, Okawa A.	Modified K-line in magnetic resonance imaging predicts clinical outcome in patients with nonlordotic alignment after laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy.	Spine	39(21)	E1261-8	2014
Nakajima M, Takahashi A, Tsuji T, Karasugi T, Baba H, Uchida K, Kawabata S, Okawa A, Shindo S, Takeuchi K, Taniguchi Y, Maeda S, Kashii M, Seichi A, Nakajima H, Kawaguchi Y, Fujibayashi S, Takahata M, Tanaka T, Watanabe K, Kida K, Kanchiku T, Ito Z, Mori K, Kaito T, Kobayashi S, Yamada K, Takahashi M, Chiba K, Matsumoto M, Furukawa K, Kubo M, Toyama Y; Genetic Study Group of Investigation Committee on Ossification of the Spinal Ligaments, Ikegawa S.	A genome-wide association study identifies susceptibility loci for ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine.	Nat Genet.	46(9)	1012-6.	2014

Yoshii T, Yamada T, Hirai T, Taniyama T, Kato T, Enomoto M, Inose H, Sumiya S, Kawabata S, Shinomiya K, Okawa A.	Dynamic changes in spinal cord compression by cervical ossification of the posterior longitudinal ligament evaluated by kinematic computed tomography myelography.	Spine	39(2)	113-9	2014
Fujimori T, Iwasaki M, Okuda S, Takenaka S, Kashii M, Kaito T, Yoshikawa H.	Long-Term Results of Cervical Myelopathy Due to Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament With an Occupying Ratio of 60% or More	Spine	39(1)	58-67	2014
Uchida K, Nakajima H, Guerrero AR, Johnson WE, Masri WE, Baba H.	Gene therapy strategies for the treatment of spinal cord injury.	Ther Deliv	5 (5)	591-607	2014
Uchida K, Nakajima H, Takeura N, Yayama T, Guerrero AR, Yoshida A, Sakamoto T, Honjoh K, Baba H.	Prognostic value of changes in spinal cord signal intensity on magnetic resonance imaging in patients with cervical compressive myelopathy.	Spine J	14 (8)	1601-1610	2014
Kobayashi S, Matsuyama Y, Shinomiya K, Kawabata S, Andou M, Kanchiku T, Saitou T, Takahashi M, Ito Z, Muramoto A, Fujiwara Y, Kida K, Yamamoto K, Wada K, Yamamoto N, Satomi K, Tani T	A new alarm point of transcranial electrical stimulation motor evoked potentials for intraoperative spinal cord monitoring: a prospective multicenter study from the Spinal Cord Monitoring Working Group of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Reserch	J Neurosurg Spine	20(1)	102-107	2014

Kawaguchi Y, Izumi T, Iwasaki M, Okawa A, Matsunaga S, Matsu moto M, Chiba K, Tsuji T, Yamazaki M, Yoshii T, Toyama Y	New classification of ossification of the posterior longitudinal ligament using CT images	J Orthop S	19(4)	530-6	2014
Kawaguchi Y, Nakano M, Yasuda T, Seki S, Hori T, Kimura T	Anterior decompressive surgery after cervical laminoplasty in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament.	Spine J	14(6)	955-63	2014
Takahashi H, Aoki Y, Kanajima A, Sonobe M, Terajima F, Saito M, Taniguchi S, Yamada M, Watanabe F, Furuya T, Koda M, Yamazaki M, Takahashi K, Nakagawa K	Phosphorylated neurofilament subunit NF-H becomes elevated in the cerebrospinal fluid of patients with acutely worsening symptoms of compression myelopathy	J Clin Neurosci	21(12)	2175-8	2014
Koda M, Furuya T, Kato K, Mannoji C, Hashimoto M, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Okawa A, Takahashi K, Ishikawa T, Yamazaki M	Delayed granulocyte colony-stimulating factor treatment in rats attenuated mechanical allodynia induced by chronic constriction injury of the sciatic nerve	Spine	39(3)	192-197	2014

Inada T, Takahashi H, Yamazaki M, Okawa A, Sakuma T, Kato K, Hashimoto M, Hayashi K, Furuya T, Fujiyoshi T, Kawabe J, Mannoji C, Miyashita T, Kadota R, Someya Y, Ikeda O, Hashimoto M, Suda K, Kajino T, Ueda H, Ito Y, Ueta T, Hanaoka H, Takahashi K, Koda M	Multicenter prospective non-randomized controlled clinical trial to prove neurotherapeutic effects of granulocyte colony-stimulating factor for acute spinal cord injury: analyses of follow-up cases after at least 1 year	Spine	39(3)	213-219	2014
Mannoji C, Koda M, Furuya T, Okamoto Y, Kon T, Takahashi K, Yamazaki M, Murakami M	Radiograms obtained during anterior cervical decompression and fusion can mislead surgeons into performing surgery at the wrong level	Case Rep. Orthop	20	398457	2014
Koda M, Furuya T, Kato K	Delayed G-CSF treatment in rats attenuates mechanical allodynia induced by chronic constriction injury of the sciatic nerve.	Spine	39	192-197	2014
Mannoji C, Koda M, Dezawa M, Hashimoto M, Furuya T, Okawa A, Takahashi K, Yamazaki M	Transplantation of human bone marrow stromal cell-derived neuroregenerative cells promotes functional recovery after spinal cord injury in mice	Acta Neurobiol. Exp	74	479-488	2014
Mori K, Imai S, Kasahara T, Nishizawa K, Mimura T, Matsusue Y.	Prevalence, Distribution, and Morphology of Thoracic Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament in Japanese: Results of CT-Based Cross-sectional Study.	Spine (Phila Pa 1976)	39(5)	394-9	2014

Katsumi K, Yamazaki A, Watanabe K, Hirano T, Ohashi M, Endo N	The characteristic clinical symptoms of C-4 radiculopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament Case report	J Neurosurg	20	480-484	2014
Yamaya S, Ozawa H, et al.	Low-energy extracorporeal shock wave therapy promotes vascular endothelial growth factor expression and improves locomotor recovery after spinal cord injury.	J Neurosurg	121	1514-25	2014
Kanno H, et al	Combination of engineered Schwann cell grafts to secrete neurotrophin and chondroitinase promotes axonal regeneration and locomotion after spinal cord injury.	J Neurosci	34	1838-55	2014
Kimura H, Fujibayashi S, Takemoto M, Otsuki B, Matsuda S.	Spontaneous reduction in ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine after posterior spinal fusion without decompression: a case report.	Spine	15;39(6)	E417-419	2014
Hoover-Fong J, Sobreira N, Jurgens J, Modaff P, Blout C, Moser A, Kim OH, Cho TJ, Cho SY, Kim SJ, Jin DK, Kitoh H, Park WY, Ling H, Hetrick KN, Doheny KF, Valle D, Pauli RM	Mutations in PCYT1A, encoding a key regulator of phosphatidylcholine metabolism, cause spondylometaphyseal dysplasia with cone-rod dystrophy	Am J Hum Genet	94	105-112	2014
Matsushita M, Kitoh H, Kaneko H, Mishima K, Kitoh Y, Tokita Y, Ishiguro N	A novel in-frame deletion of the <i>RUNX2</i> gene causes a classic form of cleidocranial dysplasia	J Bone Miner Metab	32	96-99	2014
Matsushita M, Kitoh H, Michigami T, Tachikawa K, Kaneko H, Mishima K, Ishiguro N	Benign prenatal hypophosphatasia: a treatable disease not to be missed	Ped Radiol	44	340-343	2014

Okabe YT, Kondo T, Mishima K, Hayase Y, Kato K, Mizuno M, Ishiguro N, Kitoh H	Biodistribution of locally or systemically transplanted osteoblast-like cells	Bone Joint Res	3	76-81	2014
Mishima K, Kitoh H, Haga N, Nakashima Y, Kamizono J, Katagiri T, Susami T, Matsushita M, Ishiguro N	Radiographic characteristics of the hand and cervical spine in fibrodysplasia ossificans progressiva	Intractable Rare Diseases Res	3	46-51	2014
Matsushita M, Kitoh H, Mishima K, Nishida Y, Ishiguro N	A case of severe proximal focal femoral deficiency with overlapping phenotypes of Al-Awadi-Raas-Rothschild syndrome and Fuhrmann syndrome	Ped Radiol	44	1617-1619	2014
Kitoh H, Kaneko H, Mishima K, Matsushita M, Kadono I, Nishida Y, Ishiguro N	Early and late fracture following extensive limb lengthening in achondroplasia and hypochondroplasia	Bone Joint J	96	1269-1273	2014
Kaneko H, Kitoh H, Mishima K, Matsushita M, Kadono I, Naoki Ishiguro, Hattori T	Factors associated with an unfavourable outcome after Salter innominate osteotomy in patients with unilateral developmental dysplasia of the hip: Does occult dysplasia of the contralateral hip affect the outcome?	Bone Joint J	96	1419-1423	2014
Kumagai G, Ishibashi Y	Association between roentgenographic findings of the cervical spine and neck symptoms in a Japanese community population	J Orthop Sci	19	390-397	2014
Sasaki E, Ishibashi Y	Prevalence and symptom of ossification of posterior longitudinal ligaments in the Japanese general population	J Orthop Sci	19	405-411	2014
Funaba M, Kanchiku T, Imajo Y, Suzuki H, Yoshida Y, Taguchi T	Preoperative diagnosis of the responsible level in CCM using CMAPs: comparison with SCEPs	Spinal Cord	52(3)	191-6	2014

Kanchiku T, Imajo Y, Suzuki H, Yoshida Y, Nishida N, Taguchi T.	Results of surgical treatment of cervical spondylotic myelopathy in patients aged 75 years or more: a comparative study of operative methods	Arch Orthop Trauma Surg	134(8)	1045-50	2014
Nishida N, Kanchiku T, Kato Y, Imajo Y, Yoshida Y, Kawano S, Taguchi T.	Biomechanical analysis of cervical myelopathy due to ossification of the posterior longitudinal ligament: Effects of posterior decompression and kyphosis following decompression.	Exp Ther Med	7(5)	1095-1099	2014
Fujimori T, Le H, Hu SS, Chin C, Pakmezci M, Schairer W, Taylor BK, Hamasaki T, Yoshikawa H, Iwasaki M.	Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament of the Cervical Spine in 3161 Patients	Spine	40(7)	E394-E403	2015
Maeno T, Okuda S, Yamashita T, Matsumoto T, Yamazaki R, Oda T, Iwasaki M.	Age-Related Surgical Outcomes of Laminoplasty for Cervical Spondylotic Myelopathy	Global Spine J	5(2)	118-123	2015
Watanabe S, Uchida K, Nakajima H, et al.	Early transplantation of mesenchymal stem cells after spinal cord injury relieves pain hypersensitivity through suppression of pain-related signaling cascades and reduced inflammatory cell recruitment.	Stem Cells	33 (6)	1902-1914	2015
Kawaguchi Y	Operative strategy and underlying biomechanical principles in management of ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL).	J Spine Res	6(5)	877-85	2015
Koda M, Mannoji C, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Ikeda O, Furuya T	Neurological deterioration induced by sitting in patients after cervicothoracic posterior decompression with instrumented fusion surgery for ossification of the longitudinal ligament: two cases reports	BMC Res. Notes	8	133	2015

Kamiya K, Koda M, Furuya T, Kato K, Takahashi H, Sakuma T, Inada T, Ota M, Maki S, Okawa A, Ito Y, Takahashi K, Yamazaki M	Neuroprotective therapy with granulocyte colony-stimulating factor in acute spinal cord injury: a comparison with high-dose methylprednisolone as a historical control	Eur Spine J	24	963-967	2015
Koda M, Furuya T, Okawa A, Aramomi M, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Ikeda O, Takahashi K, Yamazaki M, Mannoji C	Bone union and remodeling of disruption in thoracic ossification of the longitudinal ligament after posterior decompression and fusion surgery	Eur Spine J	24	2555-2559	2015
Kato K, Koda M, Takahashi H, Sakuma T, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Okawa A, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Hashimoto M, Ikeda O, Mannoji C, Furuya T	Granulocyte colony-stimulating factor attenuates spinal cord injury-induced mechanical allodynia in adult rats	J. Neurol. Sci	335	79-83	2015
Kimura A et al.	Impact of Axial Neck Pain on Quality of Life After Lamin oplasty	Spine	40	E1292-8	2015
Imagama S	Dynamic changes in the spina l cord cross-sectional area in patients with myelopathy due to cervical ossification of posterior longitudinal l igament.	Spine J.	15	461-466	2015

Yamada K., Matsuyama Y., Kobayashi S, Shinomiya K., Kawabata S., Ando M., Kanchiku T., Saito T., Takahashi M., Ito Z, Muramoto A., Fujiwara Y., Kida K, Wada K., Yamamoto N., Satomi K, Tani T.	Evaluation of the Alarm Criteria for Transcranial Electrical Stimulation Muscle Evoked Potential in Spinal Deformity Surgery: Multi-institution Survey by the Spinal Cord Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research.	Journal of Spine Research	6(9)	1354-1362	2015
Ito, Z., Imagama, S., Ando, K., Muramoto, A., Kobayashi, K., Hida, T., Matsuyama Y., Tanaka, S.	Variety of the Wave Change in Compound Muscle Action Potential in an Animal Model.	Asian spine journal	9(6)	952-957	2015
Nakahara Y, Suzuki R, Katagiri T, Toguchida J, Haga N	Phenotypic differences of patients with fibrodysplasia ossificans progressive due to p.Arg258Ser variants of ACVR1.	Human Genome Variation	2	15055	2015
Mori K, Imai S, Nishizawa K, Matsusue Y.	Cervical myelopathy due to calcification of the posterior atlantoaxial membrane associated with general articular deposition of calcium pyrophosphate dehydrate. A case report and review of the literature.	<i>J Orthop Sci.</i>	20(6)	1136-41	2015
Kanno H et al.	Upregulation of the receptor-interacting protein-3 expression and involvement in neural tissue damage after spinal cord injury in mice.	BMC Neurosci	16	62	2015
Nakamura T	Tumor-induced osteomalacia caused by phosphaturic mesenchymal tumor of the cervical spine.	J Orthop Sci	20	765-771	2015

Kato S, Murakami H, Demura S, et al.	Gradual spinal cord decompression through migration of floated plaques after anterior decompression via a posterolateral approach for OPLL in the thoracic spine	J Neurosurg Spine	23(4)	479-483	2015
Endo K. et al	Relationship among cervical, thoracic, and lumbopelvic sagittal alignment in healthy adults	J.Orthop.Surg	24	92-96	2015
Nishimura H, et al	Gait analysis in CSM	Asian spine J	9	321-326	2015
Matsushita M, Kitoh H, Subasinglu A, Colak F K, Dundar M, Mishima K, Nishida Y, Ishiguro N	A glutamine repeat variant of the RUNX2 gene causes cleidocranial dysplasia	Mol Syndromol	6	50-53	2015
Olney RC, Prickett TCR, Espinosa EA, Mackenzie WG, Duker A, D'Antonio C, Zabel B, Hasegawa T, Kitoh H, Aylsworth AS, Bober MB	C-type natriuretic peptide (CNP) plasma levels are elevated in subjects with achondroplasia, hypochondroplasia, and thanatophoric dysplasia	J Clin Endocrinol Metab	100	355-359	2015
Matsushita M, Hasegawa S, Kitoh H, Mori K, Ohkawara B, Yasoda A, Masuda A, Ishiguro N, Ohno K	Meclozine promotes longitudinal skeletal growth in transgenic mice with achondroplasia carrying a gain-of-function mutation in the FGFR3 gene	Endocrinology	156	548-554	2015
Mishima K, Kitoh H, Kadono I, Matsushita M, Sugiura H, Hasegawa S, Kitamura A, Nishida Y, Ishiguro N	Prediction of clinically significant leg-length discrepancy in congenital disorders	Orthopedic	38	919-924	2015
Mishima K, Kitoh H, Ohkawara B, Okuno T, Ito M, Masuda A, Ishiguro N, Ohno K	Lansoprazole upregulates polyubiquitination of TRAF6 and facilitates Runx2-mediated osteoblastogenesis	EBioMedicine	2	2046-2061	2015

Kagotani R, Yoshida M, Muraki S, Oka H, Hashizume H, Yamada H, Enyo Y, Nagata K, Ishimoto Y, Teraguchi M, Tanaka S, Nakamura K, Kawaguchi H, Akune T, Yoshimura N	Prevalence of diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) of the whole spine and its association with lumbar spondylosis and knee osteoarthritis: the ROAD study.	J Bone Miner Metab	Mar;33(2)	221-9	2015
Imajo Y, Taguchi T, Yone K, Okawa A, Otani K, Ogata T, Ozawa H, Shimada Y, Neo M, Iguchi T.	Japanese 2011 nationwide survey on complications from spine surgery.	J Orthop Scie	20	38-54	2015
Suzuki H, Kanchiku T, Imajo Y, Yoshida Y, Nishida N, Gondo T, Yoshii S, Taguchi T.	Artificial collagen-filament scaffold promotes axon regeneration and long tract reconstruction in a rat model of spinal cord transection.	Med Mol Morphol.	48(4)	214-24	2015
Nishida N, Kanchiku T, Kato Y, Imajo Y, Yoshida Y, Kawano S, Taguchi T.	Cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: Biomechanical analysis of the influence of static and dynamic factors.	J Spinal Cord Med.	38(5)	593-8	2015
Kanchiku T, Suzuki H, Imajo Y, Yoshida Y, Moriya A, Suetomi Y, Nishida N, Takahashi Y, Taguchi T	The efficacy of neuromuscular electrical stimulation with alternating currents in the kilohertz frequency to stimulate gait rhythm in rats following spinal cord injury	Bioned Eng Online	14 (1)	98	2015
Chagawa K, Nishijika S, Kanchiku T, Imajo Y, Suzuki H, Yosida Y, Taguchi T	Normal Values of Diffusion Tensor Magnetic Resonance Imaging Parameters in the Cervical Spinal Cord	Asian Spine J	9(4)	541-547	2015

Mori K, Yoshii T, Hirai T, Iwanami A, Takeuchi K, Yamada T, Seki S, Tsuji T, Fujiyoshi K, Furukawa M, Nishimura S, Wada K, Koda M, Furuya T, Matsuyama Y, Hasegawa T, Takeshita K, Kimura A, Abematsu M, Haro H, Ohba T, Watanabe M, Katoh H, Watanabe K, Ozawa H, Kanno H, Imagama S, Ito Z, Fujibayashi S, Yamazaki M, Matsumoto M, Nakamura M, Okawa A, Kawaguchi Y.	Prevalence and distribution of ossification of the supraspinous/interspinous ligaments in symptomatic patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine: a CT-based multicenter cross-sectional study.	BMC Musculoskelet Disord.	17(1)	492	2016
Inose H, Yamada T, Mulati M, Hirai T, Ushio S, Yoshii T, Kato T, Kawabata S, Okawa A.	Bone Turnover Markers as a New Predicting Factor for Non-union After Spinal Fusion Surgery.	Spine	<i>In press</i>		2016
Yoshii T, Sakai K, Hirai T, Yamada T, Inose H, Kato T, Enomoto M, Tomizawa S, Kawabata S, Arai Y, Okawa A	Anterior decompression with fusion versus posterior decompression with fusion for massive cervical ossification of the posterior longitudinal ligament with a $\geq 50\%$ canal occupying ratio: a multicenter retrospective study.	Spine J.	16(11)	1351-1357	2016
Hirai T, Yoshii T, Iwanami A, Takeuchi K, Mori K, Yamada T, Wada K, Koda M, Matsuyama Y, Takeshita K, Abematsu M, Haro H, Watanabe M, Watanabe K, Ozawa H, Kanno H, Imagama S, Fujibayashi S, Yamazaki M, Matsumoto M, Nakamura M, Okawa A, Kawaguchi Y.	Prevalence and Distribution of Ossified Lesions in the Whole Spine of Patients with Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament A Multicenter Study (JO SL CT study).	PLoS One.	11(8)	e0160117	2016

Yoshii T, Hirai T, Sakai K, Inose H, Kato T, Okawa A.	Cervical pedicle screw placement using intraoperative computed tomography imaging with a mobile scanner gantry.	Eur Spine J	25(6)	1690-7	2016
Sakai K, Yoshii T, Hirai T, Arai Y, Torigoe I, Tomori M, Sato H, Okawa A.	Cervical Sagittal Imbalance is a Predictor of Kyphotic Deformity After Laminoplasty in Cervical Spondylotic Myelopathy Patients Without Preoperative Kyphotic Alignment.	Spine	Feb;41(4)	299-305	2016
Kashii M, Matsuoto Y, Sugiura T, Fujimori T, Nagamoto Y, Makino T, Kaito T, Ebina K, Iwasaki M, Yoshikawa H.	Circulating sclerostin and dickkopf-1 levels in ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine	J Bone Miner Metab	34(3)	315-324	2016
Kawaguchi Y, Nakano M, Yasuda T, Seki S, Horii T, Suzuki K, Makino H, Kimura T	Characteristics of ossification of the spinal ligament; incidence of ossification of the ligamentum flavum in patients with cervical ossification of the posterior longitudinal ligament - Analysis of the whole spine using multidetector CT -	J Orthop Sci	21(4)	439-45	2016
Takahashi H, Koda M, Hashimoto M, Furuya T, Sakuma T, Kato K, Okawa A, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Takahashi K, Yamazaki M, Mannoji C	Transplanted peripheral blood stem cells mobilized by granulocyte colony-stimulating factor promoted hindlimb functional recovery after spinal cord injury in mice	Cell Transplant	25	283-292	2016
Maki S, Aramomi M, Matsuura Y, Furuya T, Ota M, Iijima Y, Saito J, Suzuki T, Mannoji C, Takahashi K, Yamazaki M, Kodama M	Paravertebral foramen screw fixation for posterior cervical spine fusion: biomechanical study and description of a novel technique	J Neurosurg Spine	<i>in press</i>		2016

Maki S, Koda M, Ota M, et al.	Reduced field-of-view diffusion tensor imaging of the spinal cord shows motor dysfunction of the lower extremities in patients with cervical compression myelopathy.	Spine	<i>in press</i>		2016
Fujii K, Abe T, Kubota S, Marushima A, Kawamoto H, Ueno T, Matsushita A, Nakai K, Saotome K, Kadone H, Endo A, Haginoya A, Hada Y, Matsumura A, Sankai Y, Yamazaki M	The voluntary driven exoskeleton Hybrid Assistive Limb (HAL) for postoperative training of thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament: a case report	J Spinal Cord Med	9	1-7	2016
Kubota S, Fujii K, Marushima A, Ueno T, Haginoya A, Endo A, Kadone H, Kawamoto H, Shimizu Y, Hada Y, Matsumura A, Sankai Y, Yamazaki M	Improvement of walking ability using Hybrid Assistive Limb training in a patient with severe thoracic myelopathy caused by ossification of the posterior longitudinal ligament. A case report	J Spine	S7	003	2016
Ikumi A, Kubota S, Shimizu Y, Kadone H, Marushima A, Ueno T, Kawamoto H, Hada Y, Matsumura A, Sankai Y, Yamazaki M	Decrease of spasticity after hybrid assistive limb® training for a patient with C4 quadriplegia due to chronic SCI	J Spinal Cord Med	20	1-6	2016
Koda M, Furuya T, Rokkaku T, Murakami M, Ijima Y, Saito J, Kitamura M, Ohtori S, Orita S, Inage K, Yamazaki M, Mannoji C	Drop finger caused by 8th cervical nerve root impairment: a clinical case series	Eur Spine J	[Epub ahead of print]		2016

Maki S, Koda M, Saito J, Takahashi S, Inada T, Kamiya K, Ota M, Iijima Y, Masuda Y, Matsumoto K, Kojima M, Takahashi K, Obata T, Yamazaki M, Furuya T	Tract-specific diffusion tensor imaging reveals laterality of neurological symptoms in patients with cervical compression myelopathy	World Neurosurg	96	184-190	2016
Saito J, Maki S, Kamiya K, Furuya T, Inada T, Ota M, Iijima Y, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Mannoji C, Koda M	Outcome of posterior decompression with instrumented fusion surgery for K-line (-) cervical ossification of the longitudinal ligament	J Clin Neurosci	32	57-60	2016
Ota M, Furuya T, Maki S, Inada T, Kamiya K, Iijima Y, Saito J, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Mannoji C, Koda M	Addition of instrumented fusion after posterior decompression surgery suppresses thickening of ossification of the posterior longitudinal ligament of the cervical spine	J Clin Neurosci	34	162-165	2016
Koda M, Furuya T, Kinoshita T, Miyashita T, Ota M, Maki S, Iijima Y, Saito J, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Mannoji C	Dropped head syndrome after cervical laminoplasty: A case control study	J Clin Neurosci	32	88-90	2016
Koda M, Mochizuki M, Konishi H, Aiba A, Kadota R, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Takahashi K, Yamazaki M, Mannoji C, Furuya T	Comparison of clinical outcomes between laminoplasty, posterior decompression with instrumented fusion, and anterior decompression with fusion for K-line (-) cervical ossification of the posterior longitudinal ligament	Eur Spine J	25	2294-2301	2016

Maki S, Koda M, Iijima Y, Furuya T, Inada T, Kamiya K, Ota M, Saito J, Okawa A, Takahashi K, Yamazaki M	Medially-shifted rather than high-riding vertebral arteries preclude safe pedicle screw insertion	J Clin Neurosci	29	169-172	2016
Koda M, Furuya T, Okawa A, Inada T, Kamiya K, Ota M, Maki S, Takahashi K, Yamazaki M, Aramomi M, Ikeda O, Mannoji C	Mid- to long-term outcomes of posterior decompression with instrumented fusion for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament	J Clin Neurosci	27	87-90	2016
Ito Z, Matsuyama Y, Ando M, Kawabata S, Kanchiku T, Kida K, Fujiwara Y, Yamada K, Yamamoto N, Kobayashi S, Saito T, Wada K, Tadokoro N, Takahashi M, Satomi K, Shinomiya K, Tani T	Postoperative Paralysis from Thoracic Ossification of Posterior Longitudinal Ligament (OPLL) Surgery-Risk factor of Neurologic Injury: Nationwide Multi-Institution Survey	Spine	41(19):	E1159-E1163	2016
Katsumi K, Izumi T, Ito T, Hirano T, Watanabe K, Ohashi M.	Posterior instrumented fusion suppresses the progression of ossification of the posterior longitudinal ligament: A comparison of laminoplasty with and without instrumented fusion by 3-dimensional analysis.	European Spine Journal	25(5)	1634-1640	2016
Ito Z, Matsuyama Y, Ando M, Kawabata S, Kanchiku T, Kida K, Fujiwara Y, Yamada K, Yamamoto N, Kobayashi S, Saito T, Wada K, Satomi K, Shinomiya K, Tani T	A Multicenter Study by the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research.	Global Spine J	6(3)	234-241	2016

Aizawa T et al.	Increasing Incidence of Degenerative Spinal Diseases in Japan during 25 Years: The Registration System of Spinal Surgery in Tohoku University Spine Society.	Tohoku J Exp Med	238	153-63	2016
Yahata K et al.	Low-energy extracorporeal shock wave therapy for promotion of vascular endothelial growth factor expression and angiogenesis and improvement of locomotor and sensory functions after spinal cord injury.	J Neurosurg Spine	25	745-55	2016
Shibata A, Machida J, Yamaguchi S, Kimura M, Tatematsu T, Miyachi H, Matsushita M, Kitoh H, Ishiguro N, Nakayama A, Higashi Y, Shimozato K, Tokita Y	Characterization of novel Runx2 mutation with alanine tract expansion from Japanese cleidocranial dysplasia patient	Mutagenesis	31	61-67	2016
Hasegawa S, Kitoh H, Ohkawara B, Mishima K, Matsushita M, Matsuda A, Ishiguro N, Ohno K	Tranilast stimulates endochondral ossification by upregulating SOX9 and RUNX2 promoters	Biochem Biophys Res Commun	470	356-361	2016
Sugiura K, Ohno A, Kono M, Kitoh H, Itomi K, Akiyama M	Hyperpigmentation over the metacarpophalangeal joints the malleoli in a case of hyaline fibromatosis syndrome with ANTXR2 mutations	J Eur Acad Dermatol Venereol	30	44-46	2016
Matsushita M, Kitoh H, Mishima K, Kadono I, Sugiura H, Hasegawa S, Nishida Y, Ishiguro N	Low bone mineral density in achondroplasia and hypochondroplasia	Pediatr Int	58	705-708	2016
Hasegawa S, Victoria T, Kayserili H, Zackai E, Nishimura G, Haga N, Nakashima Y, Miyazaki O, Kitoh H	Characteristic calcaneal ossification: an additional early radiographic finding in infants with fibrodysplasia ossificans progressiva	Ped Radiol	46(11)	1568-1572	2016

Melovitz-Vasan C, Kitoh H, Vas an N	A rare case of femoral hypoplasia (proximal focal femoral deficiency) with overlapping phenotype of mullerian duct syndrome (Mayer-Rokitansky-Hauser syndrome)	Int J Anat Res	4	3312-3316	2016
Ohya J, Oshima Y, Oka H, Saiki F, Taniguchi Y, Matsubayashi Y, Tanaka S, Chikuda H, Takeshita K	Patient Satisfaction with Posterior Decompression Surgery for Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament: Prognostic Radiographic Factors and Patient-Reported Outcomes for the Effectiveness of Surgical Treatment.	World Neurosurgery	96	272-279	2016
Imajo Y, Kanchiku T, Suzuki H, Yoshida Y, Nishida N, Goto H, Suzuki M, Taguchi T	Intracranial epidural hemorrhage during lumbar spinal surgery	Spinal Cord Ser Cases	7(2)	15040	2016
Funaba M, Kanchiku T, Imajo Y, Yamamoto H, Hirura Y, Fujimoto K, Taguchi T, Kido K	Relation between distal motor latency delay and sensory action potential absence of the median nerve in carpal tunnel syndrome	Clin Neurological Neurosurg	148	45-48	2016
Kanchiku T, Imajo Y, Suzuki H, Yoshida Y, Akashi K, Taguchi T	Correlation Between Spinal Cord Function Assessed by Intraoperative SCEPs and Morphology of the Compressed Spinal Cord on MRI	Clin Spine Surg	29(10)	E496-E501	2016
Suetomi Y, Kanchiku T, Nishijima S, Imajo Y, Suzuki H, Yoshida Y, Nishida N, Taguchi T	Application of diffusion tensor imaging for the diagnosis of segmental level of dysfunction in cervical spondylotic myelopathy	Spinal Cord	54(5)	390-5	2016
Ito Z, Matsuyama Y, Ando M, Kawabata S, Kanchiku T, Kida K, Fujiwara Y, Yamada K, Yamamoto N, Kobayashi S, Saito T, Wada K, Tadokoro N, Takahashi M, Satomi K, Shinomiya K, Tani T.	Postoperative paralysis from thoracic ossification of posterior longitudinal ligament surgery risk factor of neurologic injury: Nationwide multi-institutional survey.	Spine	41	E1159-E1163.	2016

Fujiwara H, Makino T, Yonenobu K, Honda H, Kaito T	Correlations and time-dependent changes of upper arm performance tests, the Japanese Orthopaedic Association score, and a newly developed patient-based outcome measure : the Japanese Orthopaedic Cervical Myelopathy Questionnaire.	Bone Joint J.	98-B(7)	990-996	2016
Yoshii T, Hirai T, Yamada T, Inose H, Kato T, Sakai K, Enomoto M, Kawabata S, Arai Y, Okawa A	Intraoperative evaluation using mobile computed tomography in anterior cervical decompression with floating method for massive ossification of the posterior longitudinal ligament.	J Orthop Surg Res.	12(1)	12	2017
Kawaguchi Y, Nakano M, Yasuda T, Seki S, Hori T, Suzuki K, Makino H, Kitazima I, Kimura T	Serum biomarkers in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament (OPLL):-inflammation in OPLL-	PLoS One	12(5)	e0174881	2017
Shimizu Y, Kadone H, Kubota S, Ikumi A, Abe T, Marushima A, Ueno T, Endo A, Kawamoto H, Saotome K, Matsushita A, Matsumura A, Sankai Y, Hada Y, Yamazaki M	Active elbow flexion is possible in C4 quadriplegia using hybrid assistive limb (HAL®) technology: A case study	J Spinal Cord Med	29	1-7	2017
Kubota S, Abe T, Kadone H, Fujii K, Shimizu Y, Marushima A, Ueno T, Kawamoto H, Hada Y, Matsumura A, Sankai Y, Yamazaki M	Walking ability following Hybrid Assistive Limb treatment for a patient with chronic myelopathy after surgery for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament	J Spinal Cord Med	<i>in press</i>		2017

Kimura A et al	"Fall-related deterioration of subjective symptoms in patients with cervical myelopathy."	Spine	42	E398-E403.	2017
Mori K, Kasahara T, Mimura T, Nishizawa K, Nakamura A, Imai S.	Prevalence of thoracic diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) in Japanese: Results of chest CT-based cross-sectional study.	J Orthop Sci.	22(1)	38-42	2017
Matsushita M, Mitsuhashi K, Esaki R, Ishiguro N, Ohno K, Kitoh H	Maternal administration of methylglucosamine for the treatment of foramen magnum stenosis in transgenic mice with achondroplasia	J Neurosurg Pediatr	19	91-95	2017
Imajo Y, Kanchiku T, Suzuki H, Yoshida Y, Funaba M, Nishida N, Fujimoto K, Taguchi T	Effects of differences in age and body height on normal values of central motor conduction time determined by F-waves	J Spinal Cord Med	40(2)	181-187	2017
Nishida N, Kanchiku T, Kato Y, Imajo Y, Suzuki H, Yoshida Y, Ohgi J, Chen X, Taguchi T	Cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: factors affecting the effect of posterior decompression	J Spinal Cord Med	40(1)	93-99	2017
Kimura A, Seichi A, Takeshita K, Inoue H, Kato T, Yoshii T, Furuya T, Kodama M, Takeuchi K, Matsunaga S, Seki S, Ishikawa Y, Imagama S, Yamazaki M, Mori K, Kawasaki Y, Fujita K, Endo K, Sato K, Okawa A.	Fall-related Deterioration of Subjective Symptoms in Patients with Cervical Myelopathy.	Spine	42(7)	E398-E403	2017
Yoshii T, Hirai T, Sakai K, Sotome S, Enomoto M, Yamada T, Inose H, Kato T, Kawabata S, Okawa A.	Anterior Cervical Corpectomy and Fusion Using a Synthetic Hydroxyapatite Graft for Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament.	Orthopedic Sci	40(2)	E334-E339	2017

雑誌 (邦文)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中嶋 秀明, 内田 研造, 馬場 久敏	FDG-PET による脊髄機能評価	Bone Joint Nerve	4 巻 2 号	223-229	2014
馬場 久敏, 竹浦 直人, 吉田 藍, 中嶋 秀明	頸椎前方除圧固定術術式の基本と応用	脊椎脊髄ジャーナル	27 巻 6 号	599-606	2014
杉田 大輔, 内田 研造, 中嶋 秀明, 竹浦 直人, 吉田 藍, 馬場 久敏	頸椎 OPLL の骨化前線における軟骨細胞分化肥大に関する転写因子のマイクロアレイを用いた検討	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57 巻 4 号	873-874	2014
中嶋 秀明, 内田 研造, 竹浦 直人, 本定 和也, 坂本 拓己, 馬場 久敏	MRI 画像における髄内輝度変化経過と臨床成績	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57 巻 5 号	1123-1124	2014
橋本光宏, 山崎正志, 望月真人, 山縣正庸, 池田義和, 中島文毅, 高橋和久	頸髄症に対する頸椎長範囲前方除圧固定術の 10 年以上の長期成績	J Spine Res	5(2)	162-165	2014
小林祥, 松山幸弘	術中脊髄機能モニタリングの現在	脊椎脊髄ジャーナル	27(4)	309-313	2014
小林祥, 松山幸弘	胸椎後縦靭帯骨化症における後方除圧矯正固定術における脊髄保護	別冊整形外科	66	204-208	2014
加藤仁志, 村上英樹, 他.	胸椎 OPLL に対する後方進入前方除圧術の新しい工夫 - 後方要素の全切除と神経根切離 -	J Spine Res	5	7-12	2014
鬼頭浩史, 松下雅樹	ドラッグ・リポジショニング (DR) による医薬品開発 乗り物酔い薬メクロジンによる低身長治療	月刊 BIO INDUSTRY	31	23-28	2014
鬼頭浩史	小児整形外科疾患の診断と治療	愛知県整形外科医会会報	29	14-18	2014

和田簡一郎,石橋恭之	検診からわかる整形外科疾患 脊椎疾患 頸髄症健診の取り組みと縦断的な腰部脊柱管狭窄症健診から得られた	臨整外	10	867-871	2014
藤原 啓恭, 海渡 貴司, 牧野 孝洋, 本田 博嗣, 米延 策雄	頸部脊髄症術前後の各種上肢機能評価(10秒テスト/JOAスコア/JOA CMEQ/簡易上肢機能検査:STEF)の相関および経時的変化に関する前向き研究	臨床整形外科	49(8)	675-683	2014
伊藤全哉,松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、小林祥、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一	胸椎 OPLL 手術において術後麻痺を防ぐには？ -麻痺を呈する操作及びアラームポイント： 全国多施設研究	脊髄機能診断学	35(1)		2015
小林祥,松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一	術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)の術前麻痺患者におけるアラームポイント～脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設前向き研究～	脊髄機能診断学	35(1)		2015
伊藤全哉,松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、小林祥、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一	胸椎 OPLL 手術において術後麻痺を防ぐには？ -麻痺を呈する操作及びアラームポイント： 全国多施設研究	脊髄機能診断学	35(1)	145-151	2015

小林祥, 松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一	術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)の術前麻痺患者におけるアラームポイント~脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設前向き研究	脊髄機能診断学	35(1)	139-144	2015
勝見敬一	頰椎後縦靭帯骨化症の病態と治療 ~手術を勧めるタイミング~	新潟県脊柱縦靭帯骨化症患者家族会「サザンカ」の会通信	56	8-12	2015
山屋誠司ほか	内視鏡下脊椎手術における3D fusion imagingによる術前計画の有用性	J Spine Res	6	1305-11	2015
鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、石黒直樹	軟骨無(低)形成症に対する培養骨髄細胞移植を併用した骨延長術	日本創外固定・骨延長学会雑誌	26	11-15	2015
鬼頭浩史	特集「整形外科領域における再生医療の最前線」 骨髄由来間葉系細胞の骨延長への応用	関節外科	34	44-49	2015
劉希哲, 石橋恭之	3次元プリンターモデルを用いて手術計画を立てた頭蓋頸椎移行部奇形の1例	東北整災誌	58	85-89	2015
熊谷玄太郎, 石橋恭之	急性期脊椎・脊髄損傷患者における経時的D-dimer測定の意義	日脊髄障害医学会誌	28	174-175	2015
坂田麻里奈 山田圭 佐藤公昭 ほか	経頭蓋電気刺激筋誘発電位は脊椎複数病変の手術時により反応する	脊髄機能診断学	36	119-125	2015
竹浦直人, 中嶋秀明, 高橋 藍, 本定和也, 北出誠, 小久保安朗	圧迫性頸髄症モデル(twy マウス)を用いた脊髄障害性疼痛に関する基礎的研究	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	59 巻4号	675-676	2016
中嶋秀明	脊髄障害性疼痛; 特集「日常診療と慢性疼痛の管理」	成人病と生活習慣病	46(7)	835-838	2016

久保田茂希, 山崎正志	脊髄障害に伴う上肢および下肢麻痺に対するHALを用いた機能回復治療	整形外科	67	917-922	2016
久保田茂希, 安部哲哉, 藤井賢吾, 門根秀樹, 丸島愛樹, 松村 明, 清水如代, 羽田康司, 山崎正志	圧迫性脊髄症の術後急性期および慢性期におけるロボットスーツHALを用いた機能回復治療 - 医師主導型自主臨床試験	脊椎脊髄ジャーナル	29	715-722	2016
久保田茂希, 安部哲哉, 藤井賢吾, 中山敬太, 三浦紘世, 山崎正志	重度脊髄症を呈する胸椎後縦靭帯骨化症に対するロボットスーツHALを用いたリハビリテーション	日本脊髄障害医学会誌	29	38-39	2016
岡田英次郎	様々な基礎疾患・病態を有する症例に対する脊椎固定術 長期予後を含めての検討 - ”	脊椎脊髄ジャーナル	29	576-579	2016
伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 川端茂徳, 寒竹 司, 木田和伸, 小林祥, 齋藤貴徳, 田所伸朗, 藤原 靖, 山田 圭, 山本直也, 和田簡一郎, 谷 俊一	胸椎 OPLL 手術において術後麻痺を防ぐには? - 麻痺を呈する要因: 全国多施設研究 - .	脊髄機能診断学	36(1)	126-132	2016
小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原 靖, 田所伸朗, 和田簡一郎, 山田 圭, 山本直也, 木田和伸, 谷 俊一	高リスク脊椎手術における Br(E)-MsEP 解析 ~ 脊椎脊髄学会モニタリング委員会による多施設研究 ~ .	脊髄機能診断学	36(1)	172-176	2016
小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原 靖, 田所伸朗, 和田簡一郎, 山田 圭, 山本直也, 谷 俊一.	【「術中脳脊髄モニタリングの現状と問題点」整形外科における脊髄モニタリングの最近の動向】日本脊椎脊髄病学会術中脊髄モニタリングワーキンググループの過去8年にわたる多施設研究成果.	臨床神経生理学	44(3)	116-119	2016

小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原 靖, 田所伸朗, 和田簡一郎, 山田 圭, 山本直也, 木田和伸, 谷 俊一.	ハイリスク脊椎手術における術中脊髄モニタリング 脊椎脊髄病学会モニタリング委員会によるBr(E)-MsEP多施設研究.	J Spine Res	7(5)	897-900	2016
勝見敬一	頸椎後縦靱帯骨化症の手術について ~手術時期と最新の治療~	新潟県脊柱縦靱帯骨化症患者家族会「サザンカ」の会通信	58	8-11	2016
勝見敬一, 平野徹, 渡邊慶, 山崎昭義, 伊藤拓緯, 傳田博司	頸椎後縦靱帯骨化症に対する後方除圧固定術の治療成績と成績関連因子の検討	東日本整形災害外科学会雑誌	28	124-127	2016
相澤俊峰	腰部脊柱管狭窄症に対する開窓術の再手術率: 20年間の生存分析を用いた検討	整形外科	67	1106-8	2016
小澤浩司	高齢者と慢性運動器痛骨粗鬆症・脊柱変形による腰背部痛.	Advances in Aging and Health Research		97-104	2016
松岡佑嗣 他	頸椎椎弓形成術の術後後弯発生と全脊椎矢状面アライメントの関係	臨床整形外科	91	983-988	2016
鬼頭浩史	跛行を呈するこども(幼児と学童期)の診察と鑑別診断	Monthly Orthopaedics	29	1-9	2016
坂田麻里奈 山田圭 佐藤公昭ほか	脊椎疾患別にみた経頭蓋電気刺激筋誘発電位の波形変化の比較	脊髄機能診断学	37	122-126	2016
藤原 啓恭, 海渡 貴司, 牧野 孝洋, 本田 博嗣, 松尾 庸平, 米延 策雄	頸椎椎弓形成術を施行した頸椎症性脊髄症と頸椎後縦靱帯骨化症における10秒テスト/JOAスコア/JOACMEQの経時的变化,および後方除圧高位が頸部痛と頸椎機能に与える影響に関する前向き比較研究	臨床整形外科	51(1)	9-18	2016

別紙 学会発表

1. 岩崎幹季, 頸椎症性脊髄症に対する椎弓形成術後の頸部痛と頸椎 alignment の関係. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 26 年 4 月京都)
2. 藤森孝人, Hai Le, 岩崎幹季ほか. 米国サンフランシスコにおける CT を使用した頸椎後縦靭帯骨化の有病率. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 26 年 4 月京都)
3. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. 頸椎後縦靭帯骨化症の骨化巣における軟骨細胞分化・肥大に関する遺伝子学的検討. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2014.4), 京都
4. 平野徹, 頸椎後縦靭帯骨化症自然経過例の骨化巣体積増加危険因子 - CT を用いた三次元解析による検討 -. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会, 2014 年 4 月, 京都.
5. 川口善治, 安田剛敏, 関庄二 他. 脊椎靭帯骨化症患者における全脊椎骨化巣の評価, 第 43 回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2014.4.18、京都
6. Zenya Ito. Monitoring of Adolescent Spinal Deformity - Multi-Center Survey by the Monitoring Committee of the Japanese Society for Spine Surgery and Related Research -. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会(2014.4.17~4.19) 京都
7. 小林祥、松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一：ハイリスク脊椎脊髄手術における術中神経合併症，第 43 回日本脊椎脊髄病学会(2014.4.17~4.19) 京都
8. 小林祥、松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、里見和彦、谷俊一：術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設前向き研究，第 43 回日本脊椎脊髄病学会(2014.4.17~19) 京都
9. 山田圭、小林祥、長濱賢、田所伸朗、和田簡一郎、村本明生、岩崎博、寒竹司、松山幸弘：側弯症手術の脊髄モニタリングのアラームポイント～日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会多施設前向き研究～，第 43 回日本脊椎脊髄病学会 (2014.4.17~19) 京都
10. Sho Kobayashi, Yukihiro Matsuyama, Shigenori Kawabata, Muneharu Andou, Zenya Ito, Takanori Saitou, Yasushi Fujiwara, Tsukasa Kanchiku, Masahito Takahashi, Akio Muramoto, Yasushi Fujiwara, Kazunobu Kida, Kei Yamada, Kanichiro Wada, Naoya Yamamoto, Toshikazu Tani. Alarm point of transcranial electrical stimulation motor evoked potential for intraoperative spinal cord monitoring in patients with paralysis. Cervical Spine Research Society Asia Pacific (2014.4.4~4.6) Ho Chi Min

11. Koda M ほか. Dropped head syndrome after cervical laminoplasty: a case control study. The 5th annual meeting of Cervical Spine Research Society-Asia Pacific section, Ho Chi Minh, Vietnam, 2014.4.
12. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. 頸椎 OPLL の骨化前線における軟骨細胞分化肥大に関する転写因子のマイクロアレイを用いた検討. 第 122 回中部日本整形外科学会災害外科学会・学術集会 (2014.4), 岡山
13. Hiroshi Kitoh, Hiroshi Kaneko, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Early and late fracture following lower limb lengthening. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2014.4.30-5.3 (Los Angeles)
14. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Hiroshi Kaneko, Kenichi Mishima, Naoki Ishiguro. Meclozine facilitates proliferation and differentiation of chondrocytes by attenuating abnormally activated FGFR3 signaling in achondroplasia. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2014.4.30-5.3 (Los Angeles)
15. 柏井将文、松尾庸平、杉浦剛ほか. 後縦靭帯骨化症患者における骨形成抑制蛋白 Sclerostin/Dkk1 を中心とした骨代謝動態解析 .第 87 回日本整形外科学会学術集会(平成 26 年 5 月神戸)
16. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、谷俊一：麻痺患者における術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント，第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22～5.25) 神戸
17. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、高橋雅人、伊藤全哉、村本明生、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、木田和伸、山本直也、齊藤貴徳、谷俊一：術中脊髄モニタリング(Br(E)-MsEP)のアラームポイント 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設前向き研究，第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22～5.25) 神戸
18. 山田圭、小林祥、長濱賢、田所伸朗、和田簡一郎、村本明生、岩崎博、寒竹司、関庄二、松山幸弘：側弯症手術における脊髄モニタリングのアラームポイントの検討-日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会による多施設前向き調査、第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22～5.25) 神戸
19. 伊藤全哉，松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、村本明生、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一郎、山本直也、谷俊一 .胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術において術後麻痺を防ぐには？-全国多施設調査- . 第 87 回日本整形外科学会 (2014.5.22～5.25) 神戸
20. 藤森孝人、Le Hai、Chin Cynthina ほか. アメリカ、サンフランシスコにおける頸椎

- 後縦靱帯骨化の有病率．第 87 回日本整形外科学会学術集会（平成 26 年 5 月神戸）
21. 岩崎幹季．頸椎後縦靱帯骨化症診療ガイドライン．第 87 回日本整形外科学会学術集会（平成 26 年 5 月神戸）
 22. 森 幹士、笠原俊幸、西澤和也、西川淳一、今井晋二、松末吉隆．当院胸部 CT 受験者からみた胸椎後縦靱帯骨化症の有病率 第 87 回日本整形外科学会学術総会 神戸市 2104 5 22-25．
 23. 高畑雅彦，胸椎後縦靱帯骨化症の術後長期的予後 術後 10 年以上経過例からの機能予後，生命予後の検討 ，第 87 回日本整形外科学会,2014 年 5 月,神戸．
 24. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、石黒直樹． 骨髄幹細胞を用いた骨延長術．第 87 回日本整形外科学会 2014.5.22-25（神戸）シンポジウム
 25. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、石黒直樹． 培養骨髄細胞と PRP の移植を併用した骨延長術． 第 87 回日本整形外科学会 2014.5.22-25（神戸）シンポジウム
 26. 鬼頭浩史、金子浩史、三島健一、松下雅樹、西田佳弘、石黒直樹． 下肢骨延長後の骨折に関連する因子． 第 87 回日本整形外科学会 2014.5.22-25（神戸）
 27. 中原康雄、吉川二葉、正田奈緒子、真野浩志、井口はるひ、四津有人、野口周一、緒方直史、芳賀信彦:進行性骨化性線維異形成症患者の症状経過と身体機能． 第 51 回日本リハビリテーション医学会学術集会，2014.6.5-7，名古屋
 28. 江口 清，久保田茂希，有安諒平，上野有希子，中田由夫，門根秀樹，松下明，五月女康作，坂根正孝，山海嘉之，脊髄障害患者のリハビリテーションにおける装着型ロボットの応用.第 51 回日本リハビリテーション医学会（名古屋），6 月，2014
 29. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、門野泉、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、石黒直樹． 当科における不安定型大顎骨頭すべり症の治療成績 第 53 回小児股関節研究会．2014.6.20-21（滋賀）
 30. 森 幹士．多機能幹細胞を用いた機能解析．後縦靱帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究 Kickoff meeting（厚生労働省科学研究委託業務 難治性疾患実用化事業）東京 2014，7，5
 31. K Yamada, Y Matsuyama, S Kobayashi, K Nagahama, K Wada, A Muramoto, N Tadokoro, T Kanchiku, H Iwasaki, S Seki, Y Hirao, A Saruwatari, M Ando, N Yamamoto, S Sumiya. Evaluation of the Alarm Criteria of Transcranial Electrical Stimulation Muscle Evoked Potential in Spinal Corrective Surgery for Different Clinical Diagnosis of Scoliosis: Multi-Institutional Survey by the Monitoring Committee of The Japanese Society for Spine Surgery. 20th International Meeting on Advanced Spine techniques (2014.7.16~7.19)Valencia
 32. S Kobayashi , Y Matsuyama, K Sinomiya, S Kawabata, M Ando, T Kanchiku, T Saito, M Takahashi, Z Ito, A Muramoto, Y Fujiwara, K Kida, N Yamamoto, K Satomi, T Tani. Alarm point of transcranial electrical stimulation motor evoked potential

- for intraoperative spinal cord monitoring in patients with paralysis. 20th International Meeting on Advanced Spine techniques (2014.7.16~7.19) Valencia
33. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、西田佳弘、石黒直樹、大野欽司. Meclozine による FGFR3 シグナル抑制効果の in vivo における検討. 第 32 回日本骨代謝学会 2014.7.24-26 (大阪)
 34. 伊藤全哉, 松山幸弘、四宮謙一、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、齊藤貴徳、高橋雅人、小林祥、藤原靖、木田和伸、山田圭、和田簡一朗、山本直也、里見和彦、谷俊一. 胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術における術後麻痺の要因 -全国多施設調査-. 日本インストゥルメンテーション学会 (2014.8.30~31) 浜松
 35. 杉浦洋、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. 複数回の補正手術を要し治療に難渋した外傷性脚長不等の成人例. 第 237 回東海整形外科集談会 2014.9.20 (名古屋)
 36. Koda M, ほか. Mid- to long-term outcomes of posterior decompression with instrumented fusion for thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament. The 53rd annual scientific meeting of International Spinal Cord Society. Maastricht, Netherland, 2014.9.
 37. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、西田佳弘、石黒直樹、大野欽司. Meclozine はオフラベル効能により FGFR3 シグナルを抑制し骨伸長を促進する. 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 2014.10.9-10 (鹿児島)
 38. 久保田茂希, 江口 清, 中田由夫, 有安諒平, 上野有希子, 上林清孝, 河本浩明, 坂根正孝, 山海嘉之, 山崎正志, 慢性期不全脊髄損傷におけるロボットスーツ HAL を用いたりハビリテーションの影響, 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会(鹿児島), 10月, 2014.
 39. 八幡健一郎、小澤浩司ほか脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による VEGF 発現と神経保護作用の検討 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 鹿児島, 10月, 2014.
 40. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. メカニカルストレスはヒト OPLL においてインディアンヘッジホッグ (Ihh) とその受容体の発現増加を促進させ軟骨細胞の成長を進行させる. 第 29 回日本整形外科学会基礎学術集会 (2014.10), 鹿児島
 41. 久保田茂希, 江口 清, 中田由夫, 有安諒平, 上野有希子, 河本浩明, 坂根正孝, 山崎正志, 山海嘉之, 医工連携によるロボットスーツ HAL の臨床応用への取り組み, つくば医工連携フォーラム 2014 (つくば), 10月, 2014.
 42. 北村暁子、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、石黒直樹. 手術加療を要した oblique talus の 1 例. 第 18 回東海足と靴の研究会 2014.10.25(名古屋)
 43. Sugita D, Uchida K, Nakajima H, Watanabe S, Yoshida A, Baba H. Indian Hedgehog signaling induces hypertrophy and differentiation of chondrocytes in the ossification front of human cervical OPLL. Euro Spine 2014 October, Lyon,

France.

44. Kentaro Yamane, Masato Tanaka, Yoshihisa Sugimoto, Shinya Arataki, Tomoyuki Takigawa, Toshifumi Ozaki, Modified Open-door Laminoplasty Decreased the Incidence of Lamina Closure -Comparison of Modified and Traditional Open-door Laminoplasty. 8th Asia Pacific Cervical Spine Meeting 2014.11.13-15.
45. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、石黒直樹. 先天性股関節脱臼に対する選択的リーメンビューゲル法による短期治療成績 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
46. 三島健一、鬼頭浩史、門野泉、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. Ponseti 法における初期治療の重要性 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
47. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Systemic administration of meclozine is a potential therapeutic strategy for FGFR3 related skeletal dysplasias. 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
48. 長谷川幸、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子. 骨系統疾患による下肢変形に対する 8 plate の使用経験 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
49. 北村暁子、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、門野泉、杉浦洋、長谷川幸、石黒直樹. 発育性股関節形成不全症における臼蓋形成の自然経過 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
50. 門野泉、鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、長谷川幸、杉浦洋、北村暁子、石黒直樹. 軟骨無形成症に対する下肢骨延長術に伴う下肢関節可動域制限 第25回日本小児整形外科学会 2014.11.27-28 (千葉)
51. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、門野泉、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. 頭蓋鎖骨異形成症における新規遺伝子変異と機能解析. 第26回日本整形外科学会骨系統疾患研究会 2014.11.28 (千葉)
52. 藤井賢吾, 安部哲哉, 中山敬太, 坂根正孝, 上野友之, 久保田茂希, 丸島愛樹, 山崎正志, 胸椎後縦靭帯骨化症に対する HAL を用いたリハビリテーション, 第16回茨城県脊髄・脊椎研究会(つくば), 11月, 2014
53. 森 幹士. 胸部 CT からみた胸椎 DISH の有病率. 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業【脊柱靭帯骨化症に関する調査研究】 平成26年度第2回班会議 東京 2014, 11, 29.
54. 藤井賢吾, 安部哲哉, 山崎正志, 胸椎 OPLL に対する HAL®(ロボットスーツ)を用いたリハビリテーション, 【脊柱靭帯骨化症に関する調査研究】【後縦靭帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究】平成26年度第2回班会議(東京), 11月, 2014.
55. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、石黒直樹、大野欽司. 乗り物酔い止め OTC 薬 meclozine

- は FGFR3 シグナルを抑制して軟骨無形成症の低身長をレスキューする. 第 32 回小児代謝性骨疾患研究会 2014.12.6 (大阪)
56. 小林祥, 長谷川智彦, 大和雄, 安田達也, 大江慎, 山田智裕, 中井慶一, 戸川大輔, 松山幸弘, 術中脊髄機能モニタリングにて神経障害が予知可能であった症例, 第 36 回脊髄機能診断研究会, 2015.02.07
 57. 小林祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原靖, 山田圭, 和田簡一郎, 山本直也, 木田和伸, 谷俊一, 高リスク脊椎手術における Br(E) -MsEP 解析 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設研究, 第 36 回脊髄機能診断研究会, 2015.02.07
 58. 伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 川端茂徳, 寒竹司, 木田和伸, 小林祥, 藤原靖, 山田圭, 山本直也, 和田簡一郎, 谷俊一: 胸椎 OPLL 手術において術後麻痺を防ぐには? 麻痺を呈する操作及びアラームポイント全国多施設研究, 第 36 回脊髄機能診断研究会, 2015.02.07
 59. 三島健一、鬼頭浩史、門野泉、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、西田佳弘、石黒直樹. 脚延長術を行った線状限局性強皮症の 1 例. 第 30 回東海小児整形外科懇話会 2015.2.14 (名古屋)
 60. 松下雅樹、鬼頭浩史、三島健一、西田佳弘、石黒直樹、大野欽司. Meclozine はオフラベル効能により FGFR3 シグナルを抑制し軟骨無形成症の根本的治療薬となりうる. 第 28 回日本軟骨代謝学会 2015.3.6-7 (東京)
 61. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、石黒直樹. 骨髄由来間葉系幹細胞の先天性骨疾患への応用 第 14 回日本再生医療学会 2015.3.20 (横浜) シンポジウム
 62. 吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 河本浩明, 山崎正志, 変形性膝関節症術後患者に対する単関節 HAL を用いた運動器リハビリテーション
第 1 回つくばロボットスーツ HAL シンポジウム (つくば), 3 月, 2015.
 63. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Naoki Ishiguro, Kinji Ohno. Meclozine enhances skeletal growth in transgenic achondroplasia mice with a constitutive active FGFR3 mutation. Annual meeting of Orthopaedic Research Society 2015.3.28-31 (Las Vegas)
 64. Kenichi Mishima, Hiroshi Sugiura, Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Naoki Ishiguro, Kinji Ohno. Promoting in vivo osteogenesis using Lansoprazole. Annual meeting of Orthopaedic Research Society 2015.3.28-31 (Las Vegas)
 65. Zenya Ito, Yukihiro Matsuyama, Kenichi Sinomiya, Shigenori Kawabata, Muneharu Ando, Tsukasa Kanchiku, Takanori Saito, Masahito Takahashi, Sho Kobayashi, Yasushi Fujiwara, Kazunobu, Kida, Naoya Yamamoto, Kazuhiko Satomi, Toshikazu Tani. Factors of Postoperative Paralysis from Thoracic Ossification of Posterior Longitudinal Ligament (OPLL) Surgery - Nationwide

Multi-Institution Survey -. AAOS (2015.3) Las Vegas

66. Masao Koda ほか. Outcome of posterior decompression with instrumented fusion for thoracic ossification of the longitudinal ligament. The 6th annual meeting of Cervical Spine Research Society-Asia Pacific section, Yokohama, Japan, 2015.3
67. Fujii K, Abe T, Kubota S, Nakayama K, Miura K, Sankai Y, Yamazaki M Efficacy of Voluntary Driven Exoskeleton Hybrid Assistive Limb (HAL) in Patients with Chronic Cervical Spinal Cord Injury. 6th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section (Yokohama), March, 2015
68. 杉田大輔, 内田研造, 中嶋秀明, 他. ヒト頸椎 OPLL におけるメカニカルストレスが骨化前線部の内軟骨骨化に関与する転写因子に与える影響の検討. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (2015.4), 福岡
69. 松本富哉、奥田真也、前野考史ほか. 頸椎硬膜内外傷性神経腫の 1 例. 第 124 回中部整形外科災害外科学会 (平成 27 年 4 月金沢)
70. 森 幹士, OPLL, OLF, DISH の頻度と関連性 - 胸部 CT 受験者からみた胸椎靭帯骨化症の調査 - 第 88 回 かきねの会 米原市 2015 4 4-5.
71. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二. 当院胸部 CT 受験者からみた胸椎後縦靭帯骨化症の有病率 第 124 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 金沢市 2015 4 10-11.
72. 杉浦 剛、長本行隆、松尾庸平ほか. リウマチ軸椎下頸椎の回旋運動時の 3 次元動態および椎間関節形態の検討. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
73. 牧野孝洋、海渡貴司、杉浦 剛ほか. 思春期特発性側弯症 (Lenke type1) における凸側凹側の椎体骨端輪骨化核の左右差. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
74. 松本富哉、奥田真也、前野考史ほか. 脊柱骨盤アライメント不良は PLIF 後隣接椎間障害を惹起する. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
75. 柏井将文、杉浦 剛、牧野孝洋ほか. 骨粗鬆症性椎体骨折後遅発性麻痺の発生危険因子の検討-骨癒合群と遅発性麻痺群の比較検討-. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
76. 山崎良二、奥田真也、山下智也ほか. 成人脊柱変形を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する単椎間固定術の患者立脚型満足度評価. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
77. 牧野孝洋、海渡貴司、杉浦 剛ほか. 骨未成熟な思春期特発性側弯症において後方矯正固定術が椎体の形態に与える影響. 第 44 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 27 年 4 月福岡)
78. 岩崎幹季、前野考史、奥田真也ほか. 高齢者脊柱後側弯症に対する手術成績. 第 44 回

日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）

79. 柏井将文、松尾庸平、杉浦 剛ほか．後縦靭帯骨化症患者における骨量と骨形成抑制蛋白 sclerostin との関連．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
80. 藤森孝人、小田剛紀、Serena Hu ほか．白人とアジア人における強直性脊椎骨増殖、後縦靭帯骨化、項靭帯骨化の有病率比較．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
81. 串岡純一、山下智也、奥田真也ほか．PLIF におけるトラネキサム酸の術中・術後出血に及ぼす効果．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
82. 岩崎幹季、奥田真也、前野考史ほか．成人脊柱変形に対する矯正手術-従来法の問題点と今後の展望-．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
83. 奥田真也、山崎良二、山下智也ほか．PLIF 術後の隣接椎間障害-1000 例の追跡調査-．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
84. 藤森孝人、奥田真也、山崎良二ほか．腰椎 JOA スコアと患者報告に基づく改善度の関係-PLIF 273 例の解析-．第 44 回日本脊椎脊髄病学会（平成 27 年 4 月福岡）
85. 今釜史郎，胸椎後縦靭帯骨化症手術に関する多施設前向き研究，第 44 回日本脊椎脊髄病学会，（福岡）2015．
86. 小林祥，松山幸弘，川端茂徳，安藤宗治，寒竹司，高橋雅人，伊藤全哉，藤原靖，山田圭，和田簡一郎，木田和伸，山本直也，谷俊一，高リスク脊椎手術における Br（E）-MsEP 解析 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設研究，第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会，2015.04.16-18
87. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二、松末吉隆．当院胸部 CT 受験者からみた広汎性特発性骨増殖症（DISH）の有病率 第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 福岡市 2015 4 16-18．
88. 校條 祐輔，高畑雅彦，頸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧術の効果予測 -K-line に動的因子を加味した評価の必要性-，第 44 回日本脊椎脊髄病学会学術集会（福岡）2015．
89. Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Clinical outcome of the lower limb lengthening using culture-expanded bone marrow cells and platelet rich plasma. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2015.4.29-5.2 (Atlanta)
90. Masaki Matsushita, Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Naoki Ishiguro. Meclozine promotes longitudinal bone growth in transgenic achondroplasia mice with gain-of-function mutation in FGFR3 gene. Annual meeting of Pediatric Orthopedic Society of North America 2015.4.29-5.2 (Atlanta)
91. 岩崎幹季、藤森孝人、奥田真也ほか．高度占拠率頸椎 OPLL に対する後方除圧の限界とその対策．第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）

92. 奥田真也、山下智也、山崎良二ほか。高齢者に対する PLIF の合併症。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
93. 杉浦 剛、長本行隆、松尾庸平ほか。リウマチ軸椎下頸椎の生体内三次元動態解析。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
94. 藤森孝人、奥田真也、山崎良二ほか。腰椎 JOA スコア改善率は患者評価に基づく改善を反映するか-PLIF 273 例の解析-。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
95. 柏井将文、益原健太、牧野孝洋ほか。陳旧性環軸椎回旋位固定患児における環椎後頭関節病変の検討。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
96. 海渡貴司、藤原啓恭、牧野孝洋ほか。CBT 法 PLIF では従来法 PLIF と比較しケージ周囲の嚢腫形成を高頻度に合併する-前向き比較研究-。第 88 回日本整形外科学会学術集会（平成 27 年 5 月神戸）
97. 今釜史郎。高度占拠率胸椎 OPLL に対する治療戦略」～後方除圧矯正固定術と後方進入脊髄前方除圧術。第 88 回日本整形外科学会学術総会（神戸）2015。
98. 小林祥、松山幸弘、川端茂徳、安藤宗治、寒竹司、伊藤全哉、藤原靖、山田圭、和田簡一郎、山本直也、谷俊一。高リスク脊椎手術における Br (E) -MsEP 解析 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリング・ワーキンググループ多施設前向き研究。第 88 回日本整形外科学会学術集会。2015.05.21-24
99. 藤原靖、松山幸弘、小林祥、伊藤全哉、山田圭、齋藤貴徳、川端茂徳、寒竹司、和田簡一郎、安藤宗治、谷俊一。経頭蓋刺激筋誘発電位術中脊髄モニタリングを用いた脊髄髄内腫瘍摘出術の手術戦略 日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究：第 88 回日本整形外科学会学術集会。2015.05.21-24
100. 山田圭、松山幸弘、小林祥、長濱賢、田所 伸朗、和田簡一郎、村本明生、岩崎博、寒竹司、関庄二、平尾雄二郎。病態別に見た側彎症手術の術中脊髄モニタリングのアラームポイントの検討 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループによる多施設前向き研究：第 88 回日本整形外科学会学術集会。2015.05.21-24
101. 芳賀信彦。成人骨系統疾患患者の診療から学ぶこと。第 88 回日本整形外科学会学術総会(パネルディスカッション「骨系統疾患の現状と展望(研究、診断、そして治療)」)。2015.5.21-24, 神戸
102. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二、松末吉隆。当院胸部CT受験者からみた広汎性特発性骨増殖症 (DISH) の有病率 第88回日本整形外科学会学術総会 神戸市 2015 5 21-24 .
103. 八幡健一郎、小澤浩司。脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による VEGF 発現・血管新生の促進と運動・知覚機能の改善効果。第88回日本整形外科学会学術総会 神戸市 2015 5 21-24 .
104. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、杉浦洋、長谷川幸、北村暁子、石黒直樹。骨系統疾

患の診断と治療-わが国の現状と展望-. 第 88 回日本整形外科学会 2015.5.21-24
(神戸) パネルディスカッション

105. Koda M ほか. Randomized, Placebo-controlled, double-blinded trial of granulocyte colony stimulating factor-mediated neuroprotection for acute spinal cord injury. The 54th annual meeting of International Spinal Cord Society, Montreal, Canada, 2015.5.
106. Koda M, ほか. Outcome of posterior decompression with instrumented fusion for K-line (-) cervical ossification of the longitudinal ligament. The 31st annual meeting of Cervical Spine Research Society-European section, London, UK, 2015.5.
107. Fujii K, Abe T, Kubota S, Nakayama K, Miura K, Sankai Y, Yamazaki M Efficacy of Voluntary Driven Exoskeleton Hybrid Assistive Limb (HAL) in Patients with Chronic Cervical Spinal Cord Injury. 31st Annual Meeting, CSRS European Section (London), May, 2015
108. 中原康雄、吉川二葉、正田奈緒子、藤原清香、野村恵、小谷博史、真野浩志、井口はるひ、四津有人、野口周一、篠田裕介、芳賀信彦: 進行性骨化性線維異形成症患者における ADL・QOL の経時的評価. 第 52 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2015.5.28-30, 新潟
109. 宮崎 亮、前野考史、杉浦 剛ほか. 整復不能だった DISH を伴う腰椎椎体骨折. 第 51 回大阪骨折研究会 (平成 27 年 6 月大阪)
110. Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Transplantation of culture-expanded bone marrow cells and platelet rich plasma in lower limb lengthening for short stature patients. The 7th International Conference on Children's Bone Health 2015.6.27-30 (Salzburg)
111. Koda M. On-field acute management of spinal cord injury/transient quadriparesis. 2015.7. Spine Across the Sea, Hawaii, USA, 2015
112. 柏井将文、森本時光、北口和真ほか. 後縦靭帯骨化症患者における骨代謝マーカーと骨量の関連. 第 17 回日本骨粗鬆症学会 (平成 27 年 9 月広島)
113. Hiroshi Kitoh, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita, Naoki Ishiguro. Transplantation of culture-expanded bone marrow cells and platelet rich plasma during distraction osteogenesis of the long bones. 4th Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society. 2015.9.8-11 (Boston)
114. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二. 当院胸部 CT 受験者からみた広汎性特発性骨増殖症 (DISH) の有病率 第 125 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 名古屋 2015, 10, 2-3.

115. 岩崎幹季、柏井将文、松尾庸平ほか。 OPLL と骨形成抑制因子スクレロスチン。第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会 (平成 27 年 10 月富山)
116. 久保田茂希,丸島愛樹,安部哲哉,藤井賢吾,俣木優輝,中山敬太,河本浩明,萩野谷歩,遠藤 歩,上野友之,羽田康司,菅谷 久,吉岡友和,山海嘉之,山崎正志, 重度歩行障害を呈する胸椎後縦靭帯骨化症に対するロボットスーツ HAL を用いたリハビリテーションの影響, 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会 (富山), 10 月,2015.
117. 中山敬太、門根秀樹、藤井賢吾、安部哲哉、鈴木健嗣、山崎正志, 三次元動作解析と筋活動計測を同期させた歩行解析法の開発, 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会 (富山), 10 月, 2015
118. 八幡健一郎、小澤浩司ほか脊髄損傷に対する低出力体外衝撃波治療による血管新生の促進と軸索障害の抑制第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会 富山,10 月,2015.
119. 内田研造, 中嶋秀明, 渡邊修司, 他. 脊髄損傷に対する間葉系幹細胞移植後の脊髄再生. 第 30 回日本整形外科学会基礎学術集会 (シンポジウム, 2015.10), 富山
120. 中山敬太、門根秀樹、藤井賢吾、安部哲哉、山崎正志, 首下がり症候群に対して三次元動作解析装置を用いた歩行解析研究, 第 37 回臨床歩行研究会 (熊本), 10 月, 2015.
121. 奥田真也、山下智也、山崎良二ほか。 PLIF 術後の隣接椎間障害-1000 例の追跡調査-第 24 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (平成 27 年 11 月新潟)
122. 宮崎亮、山下智也、奥田真也ほか。 PLIF 後 ASD による脊柱変形に対するアライメント矯正術後早期に固定下位の破綻を生じた 2 例。 第 24 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 (平成 27 年 11 月新潟)
123. 中山敬太、門根秀樹、藤井賢吾、安部哲哉、鈴木健嗣、山崎正志, 三次元動作解析と筋活動計測を同期させた歩行解析法の開発, 第 42 回日本臨床バイオメカニクス学会 (東京), 11 月, 2015.
124. 久保田茂希,安部哲哉,藤井賢吾,中山啓太,三浦紘世,山崎正志, 胸椎後縦靭帯骨化症に伴う重度脊髄症を呈するロボットスーツ HAL を用いたリハビリテーション, 第 50 回日本脊髄障害医学会 (東京), 11 月, 2015.
125. 藤井賢吾,安部哲哉,久保田茂希,門根秀樹,山海嘉之,山崎正志, 脊柱靭帯骨化症に伴う上肢および下肢麻痺に対する HAL リハビリテーション【脊椎靭帯骨化症に関する調査研究】【後縦靭帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究】, 平成 27 年度第 2 回班会議 (東京), 11 月, 2015.
126. 平野徹, 頸椎後縦靭帯骨化症骨化巣進展の画像評価, 平成 27 年度 第 2 回班会議 東京 2015, 11, 28
127. 森 幹士. OPLL、OLF は DISH の一部か? - 胸部 CT study の結果より - 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業)「脊柱靭帯骨化症に関する調査研究」平成 27 年度 第 2 回班会議 東京 2015, 11, 28

128. 鬼頭浩史. 小児の下肢の発達について. 第 29 回日本靴医学会 2015.11.21-22 (名古屋) パネルディスカッション
129. 武臣真和, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志, HAL リハビリテーションを施行した胸椎黄色靭帯骨化症の術後遅発性脊髄障害の 1 例, 第 17 回茨城県脊髄・脊椎研究会 (つくば), 11 月, 2015.
130. 吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 山崎正志, 関節疾患に対する HAL 単関節の臨床研究, 第 2 回つくばロボットスーツ HAL & CIME シンポジウム (東京), 12 月, 2015.
131. 藤井賢吾, 安部哲哉, 久保田茂希, 丸島愛樹, 中山敬太, 三浦紘世, 長島克弥, 中井啓, 松下明, 河本浩明, 門根秀樹, 五月女康作, 酒巻真由子, 清水如代, 羽田康司, 上野友之, 俣木優輝, 遠藤歩, 萩野谷歩, 山海嘉之, 山崎正志, 脊椎・脊髄疾患に対する HAL の臨床研究, 第 2 回つくばロボットスーツ HAL & CIME シンポジウム (東京), 12 月, 2015.
132. 竹浦直人, 中嶋秀明, 高橋藍, 他. 圧迫性頸髄症に伴う慢性疼痛における血液脊髄関門を介した macrophage の動態. 第 8 回日本運動器疼痛学会 (2015.12), 名古屋
133. 鬼頭浩史. 整形外科領域における低ホスファターゼ症. 第 26 回日本整形外科学会 2015.12.4-5 (岐阜) ランチョンセミナー
134. Hiroshi Kitoh, Naoki Ishiguro, Kinji Ohno, Kenichi Mishima, Masaki Matsushita. Treatment strategies for short stature in achondroplasia. International Joint Symposium Lund University & Nagoya University 2016.1.18 (名古屋)
135. 小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原靖, 山田 圭, 和田簡一郎, 田所伸郎, 山本直也, 谷 俊一 Br(E)-MsEP のアラームポイント策定は神経合併症を減らせたか? 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都.
136. 伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 寒竹 司, 小林 祥, 山田 圭, 山本直也, 和田簡一郎, 藤原 靖, 田所伸郎, 高橋雅人, 木田和伸, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 里見和彦, 四宮謙一, 谷 俊一 胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術における Br-MEP のアラームポイント 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都
137. 山田 圭, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 小林 祥, 寒竹 司, 伊藤全哉, 和田簡一郎, 田所伸郎, 山本直也, 高橋雅人, 藤原 靖, 谷 俊一, 長濱 賢, 岩崎 博, 村本明生, 関 庄二, 平尾雄二郎, 大田 亮 脊柱変形矯正手術における経頭蓋電気刺激筋誘発電位による術中脊髄モニタリングのアラームポイントの検討. 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都
138. 藤原 靖, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 寒竹 司, 山田 圭, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 木田和伸, 和田簡一郎, 安藤宗治, 山本直也, 高橋雅人, 四宮謙一, 里見和彦, 谷 俊一. 脊髄髄内腫瘍摘出における麻痺の持続期間に影響を与える術中脊髄モニタ

- リング因子の検討(日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究). 第 37 回脊髄機能診断研究会 2016.02.06 東京都
139. 鬼頭浩史、三島健一、松下雅樹、長谷川幸、杉浦洋、北村暁子. 創外固定の問題点と対策-低身長症に対する大量骨延長術において- 第 29 回日本創外固定・骨延長学会 2016.3.18-19 (金沢) シンポジウム
140. Kubota S, Abe T, Marushima A, Fujii K, Nakayama K, Miura K, Shimizu Y, Sugaya H, Yoshioka T, Sankai Y, Yamazaki M A new rehabilitation technique using the robot suit HAL for patients with severe myelopathy due to thoracic ossification of posterior longitudinal ligament (OPLL). The 62th annual meeting, ORS (Orlando, FL), March, 2016
141. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、今井晋二. 有病率からみた胸椎靭帯骨化症の関連性 - 胸部 CT データ解析結果から 第 126 回中部日本整形外科災害外科学会・学術集会 浜松市 2016 4 8-9 .
142. 大川 淳, 吉井 俊貴, 猪瀬 弘之, 平井 高志, 山田 剛史, 加藤 剛, 川端 茂徳, 坂井 顕一郎, K-line(-)の頸椎 OPLL では前方骨化浮上法が第一選択術式である, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
143. 前野考史、岩崎幹季、奥田真也ほか. 成人脊柱変形に対する固定下端の検討 - 固定下端を L5 とした症例の中長期経過観察より. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
144. 柏井将文、長本行隆、牧野孝洋ほか. 神経筋原性側弯症に対する矯正術後の矢状面アライメント変化 - 仙尾骨のアライメントの X 線学的検討 - .第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
145. 川上紀明、岩崎幹季、朝妻孝仁ほか. 側方アプローチによる腰椎椎体間固定 (LLIF): 初期導入から 2 年間における合併症調査の報告 .第 45 回日本脊椎脊髄病学会(平成 28 年 4 月千葉)
146. 藤森孝人、渡辺直史、岩本康男ほか. 全脊柱 CT を使用した脊柱靭帯骨化の有病率調査 . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
147. 山下智也、奥田真也、杉浦 剛ほか. Revision PLIF の治療成績 - 神経合併症に注目して - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
148. 山崎良二、有賀健太、奥田真也ほか. 腰部脊柱管狭窄症の逃避姿勢が脊椎骨盤 X 線パラメーターに与える影響. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
149. 奥田真也、山下智也、杉浦 剛ほか. PLIF 術後の隣接椎間障害 - 文献 review - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)
150. 杉浦 剛、奥田真也、松本富哉ほか. 腰椎変性すべり症に対する腰椎開窓術の手術成績 - 神経症状再発の病態と危険因子の検討 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 (平成 28 年 4 月千葉)

151. 小林 祥, 松山幸弘, 川端茂徳, 安藤宗治, 寒竹 司, 高橋雅人, 伊藤全哉, 藤原靖, 山田 圭, 和田簡一郎, 田所伸朗, 山本直也, 谷 俊一. 防ぎ得た麻痺の根絶にむけて - この 10 年間の JSSR モニタリング多施設研究成果より . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市 シンポジウム
152. 山田 圭, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 和田簡一郎, 寒竹 司, 田所伸朗, 岩崎博, 関 庄二. 脊柱変形手術による神経障害機序の検討 ~ 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究 ~ . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市
153. 伊藤全哉, 松山幸弘, 安藤宗治, 寒竹 司, 小林 祥, 山本直也, 和田簡一郎, 山田圭, 田所伸朗, 木田和伸, 藤原 靖, 高橋雅人, 川端茂徳, 四宮謙一, 里見和彦, 谷俊一. 胸椎後縦靭帯骨化症(OPLL)手術における Br-MEP のアラームポイント ~ 8 年越しの検討 ~ . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市 シンポジウム
154. 藤原 靖, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 寒竹 司, 山田 圭, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 木田和伸, 和田簡一郎, 安藤宗治, 山本直也, 高橋雅人, 谷 俊一. 脊髄内腫瘍摘出術における麻痺の持続期間に影響を与える因子の検討 (日本脊柱脊髄病学会多施設共同前向き研究). 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016.04.14-16 千葉市
155. 岩波明生, 西村空也, 平井高志, 吉井俊貴, 竹内一裕, 森 幹士, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治. 頸椎後縦靭帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた前縦靭帯骨化の評価 - 厚労科研脊柱靭帯骨化病研究班・多施設研究 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会・学術集会; 2016 Apr 14-16; 千葉.
156. 平井 高志, 吉井 俊貴, 坂井 顕一郎, 新井嘉容, 鳥越 一郎, 友利 正樹, 谷山 崇, 佐藤 浩一, 大川 淳. Modified K-line を用いて脊髄前方クリアランスが 4mm 未満の大きな脊髄前方圧迫がある頸椎症性脊髄症に対しての前方法と後方法の治療成績の比較, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
157. 吉井俊貴, 平井高志, 岩波明生, 竹内一裕, 森 幹士, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治. 頸椎後縦靭帯骨化症患者における項靭帯骨化の併存と脊椎靭帯骨化傾向との関連性 - 厚労科研脊柱靭帯骨化症研究班・多施設 CT 研究 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会・学術集会; 2016 Apr 14-16; 千葉.
158. 吉井 俊貴, 平井 高志, 坂井 顕一郎, 山田 剛史, 猪瀬 弘之, 加藤 剛, 川端 茂徳, 新井 嘉容, 大川 淳, 走行型術中 CT を使用した頸椎椎弓根スクリュー挿入 fluoroscopy 側面透視下挿入との精度の比較, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
159. 吉井俊貴, 平井高志, 山田剛史, 猪瀬弘之, 加藤剛, 大川淳, A prospective comparative study in surgical preparation solutions for posterior spine surgeries: Chlorhexidine-gluconate ethanol vs povidoneiodine, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉

160. 猪瀬 弘之, 齋藤 正徳, 山田 剛史, 平井 高志, 吉井 俊貴, 加藤 剛, 川端 茂徳, 大川 淳, 後縦靱帯骨化症の進展・発生に關与する遺伝子の検索, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉.
161. 牛尾 修太, 川端 茂徳, 角谷 智, 請川 大, 加藤 剛, 吉井 俊貴, 山田 剛史, 猪瀬 弘之, 榎本 光裕, 大川 淳, 脊磁計による健常成人の馬尾神経活動の非侵襲的機能評価, 第 45 回 日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2016/04/14, 千葉
162. 森 幹士, 吉井俊貴, 平井高志, 岩波明生, 竹内一裕, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治. 頸椎後縦靱帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた棘上・棘間靱帯骨化の評価 - 厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究 - . 第 45 回日本脊椎脊髄病学会・学術集会 ; 2016 Apr 14-16 ; 千葉 .
163. 岡田英次郎, 岩波明生, 渡辺慶, 檜山明彦, 中川幸洋, 竹内一裕, 松永俊二, 圓尾圭史, 坂井顕一郎, 吉井俊貴, 小林祥, 大場哲郎, 和田簡一郎, 大谷隼一, 大川淳, 松本守雄 びまん性特発性骨増殖症に伴った脊椎損傷 -厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究- 第 45 回日本脊椎脊髄病学会 2016 年
164. 森 幹士, 西澤和也, 中村 陽, 卞 栄満, 今井晋二. 後縦靱帯骨化症や黄色靱帯骨化症はびまん性特発性骨増殖症か? 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 幕張市 2016 4 14-16.
165. 國府田正雄ほか. 頸髓症手術の超長期成績:20 年以上フォロー. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2016 年 4 月 14 日~16 日 幕張
166. 國府田正雄ほか. C8 神経根障害による下垂指症例の検討. 第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会 2016 年 4 月 14 日~16 日 幕張
167. T Yoshii, T. Hirai, A Iwanami, K Takeuchi, K Mori, A Okawa, Y Kawaguchi., Co-existence of Ossification of the Nuchal Ligament is Associated with Hyperostosis in the Whole Spine in Patients with Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament, CSRS-AP2016,2016/4/21, seoul, Korea
168. Masao Koda ほか. More than 20 years follow-up of surgery for cervical myelopathy. 8th Annual Meeting of Cervical Spine Reserch Society Asia Pacific Section 2016 年 4 月 21 日~23 日 Seoul, Korea.
169. T. Hirai, T Yoshii, A Iwanami, K Takeuchi, K Mori, T Yamada, S Nishimura, M Matsumoto, M Nakamura, A Okawa, Y Kawaguchi. Incidence and Distribution of Ossified Lesions in the Whole Spine of Patients with Cervical Ossification of the Posterior Longitudinal Ligament - A Multicenter Study, CSRS-AP2016,2016/4/21, seoul, Korea.
170. 久保田茂希, 原友紀, 久保匡史, 清水如代, 山崎正志, 腕神経叢損傷に対する上肢単関節 HAL を用いたリハビリテーションの試み第 59 回日本手外科学会(広島), 4 月, 2016.
171. Kawaguchi Y. Choice of surgery in OPLL-How to deal with the surgical

- complications?. 43rd Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine; 2016 May 16-20; Singapore.
172. Kato S, et al. Anterior decompression via a posterolateral approach for ossification of posterior longitudinal ligament in the thoracic spine. SpineWeek 2016 2016. 5. 16-20. Singapore.
 173. 吉井 俊貴, 平井 高志, 山田 剛史, 猪瀬 弘之, 川端 茂徳, 大川 淳, 脊椎後方手術における術野消毒液の検討 前向き比較試験, 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 2016/5/12, 横浜
 174. 平井 高志, 吉井 俊貴, 岩波 明生, 竹内 一裕, 森 幹士, 中村 雅也, 松本 守雄, 大川 淳, 川口 善治, 頸椎後縦靱帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた全脊椎後縦靱帯骨化の評価 厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究, 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 2016/5/12, 横浜.
 175. 吉井俊貴、平井高志、山田剛史、猪瀬弘之、加藤剛、川端茂徳、大川淳, A prospective, randomized study comparing selective laminectomy and conventional laminoplasty for cervical spondylotic myelopathy, 第 89 回日本整形外科学会学術総会, 2016/5/12, 横浜.
 176. 藤森孝人、渡辺直史、岩本康男ほか. 全脊柱 CT を使用した脊柱靱帯骨化の有病率調査 . 第 89 回日本整形外科学会学術集会 (平成 28 年 5 月横浜)
 177. 小林 祥 . 術中脊髄モニタリングによる神経合併症の予防 . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 . 2016.05.12-15, 横浜市 シンポジウム
 178. 藤原 靖, 松山幸弘, 小林 祥, 伊藤全哉, 齋藤貴徳, 川端茂徳, 寒竹 司, 和田簡一郎, 安藤宗治, 山本直也, 谷 俊一 . 脊髄髄内腫瘍摘出術における麻痺の持続期間に影響を与える因子の検討 (日本脊椎脊髄病学会多施設共同前向き研究) . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 . 2016.05.12-15 横浜市
 179. 山田 圭, 松山幸弘, 小林 祥, 岩崎 博, 関 庄二, 伊藤全哉, 山本直也, 川端茂徳, 寒竹 司, 和田簡一郎, 田所伸朗 . 脊椎変形手術による神経障害機序の検討 - 日本脊椎脊髄病学会脊髄モニタリングワーキンググループ多施設前向き研究 - . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 . 2016.05.12-15 横浜市
 180. 岩波明生, 西村空也, 平井高志, 吉井俊貴, 竹内一裕, 森 幹士, 中村雅也, 松本守雄, 大川 淳, 川口善治 . 頸椎後縦靱帯骨化症患者における全脊椎 CT を用いた前縦靱帯骨化の評価 - 厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班・多施設研究 - . 第 89 回日本整形外科学会学術総会 ; 2016 May 12-15 ; 横浜 .
 181. 今釜 史郎「胸椎後縦靱帯骨化症の手術成績～多施設前向き研究」, 第 89 回日本整形外科学会学術総会 (横浜) 2016
 182. 森 幹士、西澤和也、中村 陽、宍 栄満、今井晋二. 後縦靱帯骨化症/黄色靱帯骨化症はびまん性特発性骨増殖症か? 第 89 回日本整形外科学会学術総会 横浜市 2016

5 12-15 .

183. 國府田正雄ほか. 頸髄症の病態と治療 既治療者の加齢による変化 . 第 89 回日本整形外科学会学術集会. 2016 年 5 月 12 日~5 月 15 日、横浜
184. 國府田正雄ほか. 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子神経保護療法 医師主導治験. 第 89 回日本整形外科学会学術集会. 2016 年 5 月 12 日~5 月 15 日、横浜
185. Ikumi A, Kubota S, Shimizu Y, Kadone H, Hada Y, Yamazaki M Use of robot suit HAL in rehabilitation of chronic spinal cord injury (Tetraplegia, neurological level C4): a case report 10th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress (ISPRM) (Kuala Lumpur, Malaysia), May 29-June 2, 2016
186. 吉井俊貴, 頸椎後縦靭帯骨化症による頸髄損傷, 第 30 回 日本外傷学会, 2016/5/30, 御茶ノ水.
187. Masao Koda ほか. Randomized, placebo-controlled, double blinded trial of G-CSF-mediated neuroprotection for SCI. 2016 National Neurotrauma Society Annual Symposium 2016 年 6 月 26 日~29 日 Lexington, USA.
188. Kawaguchi Y. Operative strategy in the treatment of OPLL. AOSpine Masters Symposium - OPLL & Cervical degeneration; 2016 Jun 5; Beijing.
菅谷久, 吉岡友和, 久保田茂希, 門根秀樹, 清水如代, 羽田康司, 山崎正志変形性膝関節症術後患者に対するロボットスーツを用いた膝関節機能回復治療の安全性と実施可能性第 53 回日本リハビリテーション医学会 (京都), 6 月, 2016.
189. 中原康雄、遠藤佐知子、澤田佑介、真野浩志、井口はるひ、遠藤聡、野口周一、四津有人、吉川二葉、藤原清香、篠田裕介、芳賀信彦: 進行性骨化性線維異形成症患者における身体機能の経時的評価. 第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2016.6.9-11, 京都
190. 清水如代, 久保田茂希, 門根秀樹, 羽田康司, 遠藤歩, 上野友之, 河本浩明, 丸島愛樹, 山崎正志 上肢単関節 HAL による機能回復治療を行った C4 頸髄損傷四肢麻痺の 1 例 第 53 回日本リハビリテーション医学会 (京都), 6 月, 2016.
191. 久保田茂希, 清水如代, 原 友紀, 門根秀樹, 菅谷 久, 吉岡友和, 羽田康司, 山崎正志肋間神経移行術が施行された腕神経叢損傷上位型麻痺に対する上肢単関節 HAL を用いた機能回復治療第 53 回日本リハビリテーション医学会 (京都), 6 月, 2016.
192. 中嶋秀明. 脊髄再生・疼痛. 第 38 回日本疼痛学会 (2016.6) 札幌
吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 山崎正志変形性膝関節症術後患者に対するロボットスーツを用いた膝関節機能回復治療の安全性と実施可能性 JOSKAS (福岡), 7 月, 2016.
193. 森 幹士. 後縦靭帯骨化症・黄色靭帯骨化症 ~ 病気の理解と治療、日常生活で注意すること ~ 滋賀県東近江保健所難病医療講演会 米原市 2016 7 3

194. 吉井俊貴, 頸椎後縦靱帯骨化症に対する手術治療 - 術式選択 -, 北大脊椎脊髄外科セミナー2016, 2016/7/15, 札幌.
195. 吉井俊貴, 頸椎後縦靱帯骨化症に対する手術治療 - 合併症とその対策 -, 北大脊椎脊髄外科セミナー2016, 2016/7/15, 札幌.
196. 門根秀樹, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志 重度脊髄障害例に対してロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療における歩行時筋活動の解析 第 34 回日本ロボット学会学術講演会 (山形), 9 月, 2016.
197. 前野考史, 松本富哉, 山下智也ほか. 頸椎 OPLL に対する術後復職調査. 第 5 回おおさか脊椎カンファレンス (平成 28 年 9 月大阪)
198. 中嶋秀明, 渡邊修司, 本定和也, 他. 脊髄間葉系幹細胞移植は疼痛関連シグナルおよび炎症細胞浸潤抑制を介して脊髄損傷後疼痛抑制に寄与する. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
199. 杉田大輔, 中嶋秀明, 竹浦直人, 他. ヒト頸椎 OPLL 骨化巣における mechanical strain と Ihh signaling の発現に関する検討. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
200. 竹浦直人, 中嶋秀明, 高橋 藍, 他. 慢性圧迫脊髄における MRI 輝度変化と血液脊髄関門の透過性変化. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
201. 高橋 藍, 中嶋秀明, 本定和也, 他. 脂肪由来幹細胞と骨髄由来幹細胞のストレス耐性比較および脊髄損傷に対する治療効果. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
202. 本定和也, 中嶋秀明, 高橋 藍, 他. CCL21 欠損マウス脊髄損傷モデルにおける疼痛関連評価および損傷部・腰膨大部の microglia/ macrophage phenotype と炎症性サイトカインの評価. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
203. 北出 誠, 中嶋秀明, 渡邊修司, 他. ラット脊髄損傷における microglia の [^{11}C] - PK11195 による PET イメージング. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会(2016.10), 福岡
204. 川口善治, 安田剛敏, 関 庄二, 鈴木賀代, 箭原康人, 牧野紘士, 北島 勲, 木村友厚. 後縦靱帯骨化症における血清バイオマーカー. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2016 Oct 13-14; 福岡.
205. 川口善治, 安田剛敏, 関 庄二, 鈴木賀代, 箭原康人, 牧野紘士, 北島 勲, 木村友厚. 後縦靱帯骨化の伸展と高感度 CRP の関連. 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会; 2016 Oct 13-14; 福岡.
206. 門根秀樹, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山海嘉之, 山崎正志 重度脊髄障害例に対するロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療の効果の解析第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会 (福岡), 10 月, 2016.
207. 高畑雅彦 頸椎椎体骨密度分布の異常から推定される頸椎後縦靱帯骨化症の進展のメ

- カニズム．小甲晃史，高畑雅彦，他．第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡）2016．
208. 牧原武史，門根秀樹，大西信三，久保田茂希，羽田康司，清水如代，山崎正志 ロボットスーツ HAL 単関節タイプを用いた肩肘リハビリテーション - 健常者を対象とした安全性，妥当性評価 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡），10 月，2016
209. 久保田茂希，安部哲哉，清水如代，門根秀樹，藤井賢吾，羽田康司，菅谷久，吉岡友和，山海嘉之，山崎正志 重度歩行障害を呈する胸椎後縦靭帯骨化症に対するロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡），10 月，2016．
210. 俣木優輝，六崎裕高，鎌田浩史，岩崎信明，水上昌文，竹内亮子，中川将吾，和田野安良，山崎正志 脳性麻痺児に対するロボットスーツ HAL 使用の即時効果 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会（福岡），10 月，2016
211. 國府田正雄ほか． 脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いた神経保護療法． 第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会 2016 年 10 月 13 日～14 日、福岡
212. 清水如代，門根秀樹，羽田康司，出井裕司，岸本圭司，久保田茂希，上野友之，山崎正志 小児期の Rotationplasty 症例に対する義足作製・歩行解析第 32 回日本義肢装具学会学術大会（札幌），10 月，2016．
213. 平井高志、吉井俊貴、猪瀬弘之、山田剛史、江川 聡、加藤 剛、大川 淳、頸椎症性脊髄症に対する前方除圧固定術と椎弓形成術の前向き比較研究 - 術後 10 年 長期報告 臨床、画像成績の比較，第 25 回 日本脊椎インストゥルメンテーション学会，2016/10/28，長崎．
214. 江川 聡、吉井俊貴、猪瀬弘之、平井高志、山田剛史、川端茂徳、大川淳、頸椎多椎間前方除圧固定術後の軟部組織腫脹に関する検討 - 頸椎後縦靭帯骨化症と 他疾患の比較 - ，第 25 回 日本脊椎インストゥルメンテーション学会，2016/10/28，長崎．
215. 藤井賢吾，藤井賢吾，安部哲哉，船山 徹，野口裕史，中山敬太，三浦紘世，熊谷洋，久保田茂希，山崎正志 胸椎 OPLL に伴う重度脊髄障害に対する後方除圧固定術 + ロボット歩行訓練による新たな治療 第 25 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会（長崎），10 月，2016178．
216. 今釜史郎「胸椎後縦靭帯骨化症に対する後方除圧矯正固定術後に脊髄前方除圧術を要する因子～自験例の検討」，第 25 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会、長崎、2016
217. 國府田正雄ほか． 頸椎後方手術が頸椎矢状面バランスに及ぼす影響：脊柱管拡大術と後方除圧固定術の比較． 第 25 回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 2016 年 10 月 28 日～29 日 長崎
218. 吉井俊貴， 頸椎 OPLL に対する前方法の有用性， 第 51 回 日本脊髄障害医学会，2016/11/10，幕張．

219. 藤井賢吾, 安部哲哉, 久保田茂希, 船山徹, 山崎正志 胸椎後縦靭帯骨化症に伴う重度脊髄障害に対する後方除圧固定術+ ロボット治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
220. 三浦紘世, 門根秀樹, 安部哲哉, 遠藤寛興, 村上秀樹, 山崎正志 ショベリング除雪反復動作におけるロボットスーツ HAL の腰部負荷軽減効果第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
221. 久保田茂希, 安部哲哉, 藤井賢吾, 清水如代, 羽田康司, 山崎正志 頸椎術後 C5 麻痺に対する上肢単関節 HAL を用いた機能回復治療第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
222. 門根秀樹, 久保田茂希, 清水如代, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志 重度脊髄障害例に対するロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療の歩行時筋活動解析 第 51 回日本
224. 山内駿介, 清水如代, 門根秀樹, 久保田茂希, 羽田康司, 山崎正志 脊髄硬膜動静脈瘻を発症した慢性期脊髄損傷患者に対する HAL による機能回復治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
223. 清水如代, 門根秀樹, 久保田茂希, 安部哲哉, 羽田康司, 山崎正志 慢性期頸髄損傷四肢麻痺患者に対する上肢単関節 HAL による機能回復治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
224. 清水如代, 門根秀樹, 羽田康司, 山崎正志 成人期脳性麻痺患者に対する HAL を用いた機能回復治療 第 51 回日本脊髄障害医学会(幕張), 11 月, 2016
225. 森 幹士. 胸椎靭帯骨化症の有病率調査 ~身近な臨床研究のヒントを求めて~. 第 12 回信州整形外科放射線科勉強会 長野市 2016 11 11.
226. 安部哲哉, 藤井賢吾, 三浦紘世, 長島克弥, 熊谷洋, 野口裕史, 船山徹, 久保田茂希, 門根秀樹, 山崎正志 胸椎 OPLL による重度脊髄障害に対する後方除圧固定術に続く装着型ロボット HAL を用いた歩行訓練の効果【脊椎靭帯骨化症に関する調査研究】【後縦靭帯骨化症の病態解明・治療法開発に関する研究】平成 28 年度第 2 回合同班会議(東京), 11 月, 2016
227. T Yoshii, T Hirai, K Sakai, A Okawa, K Shinomiya., A Prospective Comparative Study in Skin Antiseptic Solutions for Posterior Spine Surgeries: Chlorhexidine-Gluconate Ethanol Vs. Povidone-Iodine, 2016 CSRS, 2016/11/30, Toronto, Canada.
228. 吉岡友和, 菅谷久, 久保田茂希, 金森章浩, 山崎正志 人工膝関節置換術後急性期におけるロボットスーツを用いた膝関節機能回復治療の安全性と実施可能性第 47 回日本人工関節学会(沖縄), 2 月, 2017
229. 國府田正雄ほか. 脊髄損傷急性期の臨床評価ガイドライン作成: 薬事承認審査のために. 第 16 回日本再生医療学会 2017 年 3 月 7 日~9 日 仙台
230. 小林嵩弘, 野口裕史, 安部哲哉, 船山徹, 熊谷洋, 長島克弥, 三浦紘世, 藤井賢吾,

- 山崎正志 重度脊髄症を呈する頸胸椎後縦靱帯骨化症に対してロボットスーツ HAL を用いた機能回復治療を行った 1 例 第 57 回関東整形災害外科学会(東京), 3 月, 2017
- 231 . Fujii K, Abe T, Kubota S, Marushima A, K, Kawamoto H, Sankai Y, Yamazaki M Voluntary driven exoskeleton Hybrid Assistive Limb for postoperative therapy of cervical and thoracic ossification of the posterior longitudinal ligament. 8th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society Asia Pacific Section, (Kobe, Japan), March, 2017
232. Masao Koda ほか. Clinical outcome of drop finger caused by C8 nerve root impairment. 8th Annual Meeting of Cervical Spine Reserch Society Asia Pacific Section 2017 年 3 月 9 日 ~ 11 日 Kobe, Japan
- 233 . Kimura A, Takeshita K, Shiraishi Y, Inoue H, Endo T, Okawa A. Fall-related Deterioration of Subjective Symptoms in Patients with Cervical Myelopathy. AAOS 2017 Annual Meeting, San Diego, CA
- 234 . Matsushita M, Kitoh H, Mishima K, Sugiura H, Hasegawa S, Kitamura A, Ishiguro N, Ohno K. Clinically feasible dose of meclozine promotes bone growth in mouse model with achondroplasia. Annual meeting of Orthopaedic Research Society 2017.3.19-22 (San Diego)